

2025（令和7）年度
文学部履修案内

千葉大学文学部

2025年度（令和7年度）文学部授業カレンダー

＜前期＞							
授業期間：4/9～7/28 （14週 15回(メディア授業1回含む)）							
一部、9月末までの間に実施される集中授業があります。 （ターム制（7週 8回(メディア授業1回含む)）で行う授業日程については以下の色分けのとおり）							
	日	月	火	水	木	金	土
4月			1	2	3	4	⑤
	6	7	8	9	10	11	⑫
	⑬	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30(火)			
5月					1	2	3
	4	5	6	7	8(月)	9(火)	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	31
6月	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30					
7月			1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30	31		
8月						1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
9月		1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	②⑥	27
	28	29	30				

T1		7	7	7	7	7	
T2		7	7	7	7	7	
T3	集中講義、留学プログラム等						

前期	文学部新生ガイダンス：4月1日(火)
	文学部2～4年次ガイダンス：4月2日(水)
	キャリアガイダンス：4月2日(水)
	資格取得ガイダンス：4月3日(木)
	新入生学生証交付、個別履修相談：4月3日(木)
	入学式：4月5日(土)
	4月12日(土)は、1年次生対象TOEFL ITP全学実施日
	4月13日(日)は、4年次生対象TOEIC IP全学実施日
	4月30日(水)、5月9日(金)は、火曜授業日
	5月8日(木)は、月曜授業日
	卒業式・学位記授与式：9月26日(金)

補講週間(補講は6限目に実施。通常授業あり。)

＜後期＞							
授業期間：10/1～1/27 （14週 15回(メディア授業1回含む)）							
一部、3月末までの間に実施される集中授業があります。 （ターム制（7週 8回(メディア授業1回含む)）で行う授業日程については以下の色分けのとおり）							
	日	月	火	水	木	金	土
10月				1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15(月)	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30	31	
11月							1
	2	3	4	5	6(月)	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
12月							
		1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
1月							
					1	2	3
	4	5	6(金)	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
2月							
3月							

T4		7	7	7	7	7	
T5		7	7	7	7	7	
T6	集中講義、留学プログラム等						

後期	10月15日(水)は、月曜授業日
	大学祭：11月1日(土)～11月3日(月)
	創立記念日：11月5日(水)
	11月6日(木)は、月曜授業日
	1月6日(火)は、金曜授業日
	1月16日(金)は、大学入学共通テスト準備
	卒業式・学位記授与式：3月23日(月)

予備日 授業準備期間

※「授業準備期間」は、学生及び教員が次タームの授業準備を行う期間及び 学生が前タームの課題等を実施する期間とする。
「授業準備期間」に、授業・試験等(「7週+メディア授業1回」における「メディア授業1回」を含む)を実施することは原則認めない。

2025年度（令和7年度）文学部 学年暦

期	ターム	事 項	日 程	備 考
前期 4月 ～ 9月		春季休業期間	4月1日（火） ～8日（火）	・普遍教育科目履修希望クラス（前期分）のWeb申込期間：4月1日（火）12時～2日（水）17時 ・各種ガイダンス：文学部ガイダンス日程については文学部授業カレンダー参照 ・入学式：4月5日（土）
	第1ターム	授業期間	4月9日（水） ～5月30日（金）	・履修登録・修正期間：4月4日（金）～22日（火） ※ガイダンス時に指示 ・英語能力試験：1年次…4月12日（土） 4年次…4月13日（日） ・火曜授業日：4月30日（水）、5月9日（金） <u>火曜日の授業を行います。</u> ・月曜授業日：5月8日（木）<u>月曜日の授業を行います。</u> ・補講週間：5月19日（月）～23日（金） ・予備日：5月31日（土）
		授業準備期間	6月2日（月） ～6日（金）	
	第2ターム	授業期間	6月9日（月） ～7月28日（月）	・履修登録・修正期間（T1－2型開講科目を除く）：6月4日（水）～20日（金） ・補講週間：7月14日（月）～18日（金） ・予備日：7月29日（火）
	第3ターム	夏季休業期間 （集中講義等）	7月30日（水） ～9月30日（火）	・普遍教育科目履修希望クラス（後期分）のWeb申込期間：9月1日（月）9時～5日（金）17時 ・夏季休業期間 集中講義、サマープログラム等を実施 ・卒業式・学位記授与式：9月26日（金）
後期 10月 ～ 3月	第4ターム	授業期間	10月1日（水） ～11月20日（木）	・履修登録・修正期間：9月26日（金）～10月15日（水） ・月曜授業日：10月15日（水）、11月6日（木） <u>月曜日の授業を行います。</u> ・大学祭：11月1日（土）～3日（月） ・創立記念日：11月5日（水） ・補講週間：11月7日（金）、10日（月）～13日（木） ・予備日：11月22日（土）
		授業準備期間	11月21日（金） ～28日（金）	
	第5ターム	授業期間	12月1日（月） ～1月27日（火）	・履修登録・修正期間（T4－5型開講科目を除く）：11月26日（水）～12月12日（金） ・冬季休業期間：12月27日（土）～1月4日（日） ・金曜授業日：1月6日（火）<u>金曜日の授業を行います。</u> ・臨時休業日（大学入学共通テスト準備）：1月16日（金） ・補講週間：1月9日（金）、14日（水）～15日（木）、19日（月）～20日（火） ・予備日：1月28日（水）
	第6ターム	臨時休業期間 （集中講義等）	1月29日（木） ～3月31日（火）	・臨時休業期間 集中講義、スプリングプログラム等を実施 ・卒業式・学位記授与式：3月23日（月）

文学部へようこそ

「文学」という言葉は、中国の古典『論語』にも見える古い言葉です。孔子の学生のなかには「徳行」「言語」「政事」「文学」の4つの方面にそれぞれ秀でた者がいたといえます。ここでの「文学」とは、詩文など狭義の文学作品に限らず、文化の全般にわたる広博な教養を指します。それは人類の豊饒な文化的達成を継承し、後世へ伝える営みであり、自身を正しく持する「徳行」、相手とわかりあう「言語」、集団をみちびく「政事」となれば、人がより善く生きるために欠くことのできないものと考えられました。

千葉大学文学部のカバーする学びの範囲はきわめて広く、人間の知覚や思考から言語・社会・歴史まで、東西の古典から現代のサブカルチャーまで及びますが、そこに共通するのは「人間とは何か」という問いです。人間すべてに共通するもの、あるいは逆に「私」にしかないものとは何か、時代や地域による人々の考え方の違いはどうして生まれるのか、動物やロボットと人間はどこが異なるのかなど、それぞれのアプローチを通して、「人間とは何か」という究極的な問題に迫ろうとします。

よく言われるように、このような文学部の学びは、ただちに何かの役に立つものではありません。限定的な目的をもつものではないからです。限定的な目的をもつものは、技術であって、学問とは呼べません。新入生のみなさんは、受験という限定的な目的から解放され、自由な学問の入口に立っています。これから4年間、自分の興味のあることをとことん追いかけて欲しいと思います。

文学部のディプロマポリシー（学位授与の方針）にも「自由・自立の精神」を謳っていますが、自由は時として強い自覚をもって堅持される必要があります。そのディプロマポリシーにはまた「批判的な姿勢で実証的・論理的な思考を実践する」とあります。納得のいかないこと、理不尽なことを、根拠や理由も質さずに黙って受け入れることほど、学問的精神から遠いことはありません。疑問に思うことに対しては、徹底的に追究するという姿勢を忘れないでください。

大学という場所には、日本各地、さらには海外から、年齢も文化的背景も違うさまざまな人々が集ってきます。なかには「世の中にこんなことを考えている人間がいたのか」と思うような、途轍もなくユニークな人もいて、そのような人との出会いが自分の人生に大きな影響を与えることもあります。現代ではSNSや仮想空間のおかげで、人どうしの結びつく範囲は以前とは比べものにならないほど拡大しましたが、それでも大学における人間関係は特別です。私自身、大学時代にそのような出会いがなければ、教員として大学にとどまろうとは考えなかったでしょう。このような時代だからこそ、大学での貴重な出会いを大切にしたいと思います。

最後にもう一度『論語』の言葉を引きましょう——「これを知る者はこれを好む者に如かず、これを好む者はこれを楽しむ者に如かず（ある事柄について知っている人は好きな人になれないし、好きな人は楽しんでる人になれない）」。どうかこれからの大学生活を存分に楽しんでください。

文 学 部 長

内 山 直 樹

文学部 学位授与の方針

千葉大学文学部は、「つねに、より高きものをめざして」の本学の理念のもと、以下を修得した学生に対して、学位を授与する。

「自由・自立の精神」

- 自立した社会人として、自己の目標を設定し、向上心と向学心、またそれを支える学修技法を獲得でき、自己の良心と社会の規範を尊重し、高い倫理性をもって行動できる。

「地球規模的な視点からの社会とのかかわりあい」

- 人文科学の専門諸領域の社会的、文化的、歴史的位置づけを理解し、自己の専門的能力を地球社会および地域社会の持続可能でインクルーシブな発展のために役立てることができる。
- 自己の国際経験を生かし、広い視野から社会に貢献することができる。

「普遍的な教養」

- 多様な文化・価値観を深く理解し、文理横断的・異分野融合的な知を備え、社会や人類が直面する地球規模の課題について主体的な認識と判断力をもって対応できる教養を身につける。

「専門的な知識・技術・技能」

- 人文科学の専門領域に関する知識を幅広く習得し、それらを問題設定・手法選択・問題解決のために活用でき、批判的な姿勢で実証的・論理的な思考を実践するとともに、イノベーション創出に結びつけることができる。

「高い問題解決能力」

- 他者と協力して考えや情報を共有するとともに、主体的学修を通じて問題解決に取り組み、解決の方向性を提案することができる。

目 次

I 履修に関する基本事項

1. 学籍について	8
2. 授業の履修について	8
① 学年暦	8
② 授業時間	8
③ 単位の認定	8
④ 試験	9
⑤ レポート	9
⑥ シラバス	9
⑦ 履修登録	9
⑧ 補講	10
3. 成績について	10
① 成績評価	10
② 成績の通知	10
③ 成績に関する問い合わせ	10
④ GPA (Grade Point Average) について	10
4. 授業・履修・学生生活等に関わる通知	11
① 千葉大学学生ポータル	11
② Moodle「文学部（全学年向け）」	11
③ 文学部掲示板	11
④ メールの利用	11
5. 公欠・臨時休講の取扱い	12
① 授業の公欠について	12
② 自然災害・交通機関のストライキ等に伴う臨時休講	13

II 卒業に必要な要件

1. 在学年数	14
2. 卒業に必要な単位	14
① 卒業要件単位	14
② 卒業要件単位における「メディア授業科目」による修得単位数の上限適用について	14
3. 外国人留学生の卒業に必要な単位	16
4. 全員留学について	17
① 留学の必修化	17
② 外国人留学生および3年次編入学生	17
③ 留学代替措置に関する手続	17
④ 留学に関する経済的支援措置	17
⑤ 留学申請	17
⑥ 単位認定	17

⑦ 単位認定申請	18
 Ⅲ 単位に関すること	
1. 単位上限制	19
① 各コースの上限	19
② 上限の算定に含まれない科目	19
③ 上限を超えて履修登録が認められる条件	20
 Ⅳ 科目区分について	
1. 普遍教育科目	21
① 国際発展科目群	21
② 地域発展科目群	21
③ 学術発展科目群	22
④ その他	22
2. 専門教育科目	23
① 卒業要件として認められる科目	23
② 共通基礎科目	23
③ 専門科目	24
3. 卒業論文	25
4. 自由選択科目	25
5. 大学院授業科目の先行履修制度	25
 Ⅴ 転コース・早期卒業制度	
1. 転コース制度	27
2. 早期卒業制度	27
 Ⅵ コース・ナンバリング・システム、 カリキュラム・ツリーおよびカリキュラム・マップ	
1. コース・ナンバリング・システム	28
2. カリキュラム・ツリーおよびカリキュラム・マップ	28
 Ⅶ 副専攻・サーティフィケートプログラム	
1. アジア・ユーラシアプログラム	29
2. 国際日本学	30
3. ローカル・イノベーション学	30
4. 数理・データサイエンス教育プログラム	30
5. 環境サステナビリティ実践学	30

Ⅷ 文学部人文学科設置科目一覧

1. 共通基礎科目	32
2. 専門科目	35
① 行動科学コース	35
② 歴史学コース	41
③ 日本・ユーラシア文化コース	45
④ 国際言語文化学コース	49
3. 文学部が開講する司書科目	52

Ⅸ 各種資格の取得

1. 教育職員免許状の取得について	53
① 取得できる教育職員免許状の種類	53
② 免許状取得に必要な学位	53
③ 免許状取得に必要な単位	54
④ 「教科及び教科の指導法に関する科目」一覧	59
2. 学芸員資格の取得について	65
① 資格取得に必要な単位	65
② 博物館実習について	65
3. 司書資格の取得について	66
① 資格取得の条件	66
② 資格取得に必要な単位	66
③ 履修の方法	67
④ 証明書の交付	67

X 事務手続きについて

68

XI 文学部教員名簿

70

案 内 図

73

I 履修に関する基本事項

1. 学籍について

文学部生は、「千葉大学学則」により、8年間の「在学」および4年間の「休学」（3年次編入学生については4年間の「在学」および2年間の「休学」）が認められています。授業を履修するためには、「在学」していることが必要です。

また、卒業には本学に4年以上（3年次編入学生については2年以上、早期卒業制度（V-2. 早期卒業制度参照）適用者については3年以上）「在学」することが必要です。「休学」や「停学」は「在学」期間に含まれません。詳細についてはII-1. 在学年数を参照してください。

2. 授業の履修について

文学部生は、「千葉大学学則」、「千葉大学普遍教育等履修細則」、「千葉大学文学部規程」（以上は千葉大学ホームページで検索できます）および入学年度の「文学部履修案内」にしたがって履修します。行動科学コース先進科学プログラムの学生は、先進科学センター履修案内もあわせて確認してください。

① 学年暦

学年暦は、文学部授業カレンダー（表紙裏参照）のとおり6タームに分かれています。授業は、ターム毎に完結するもの、2ターム連続で行われるもの等がありますので、各授業のシラバスで確認してください。

② 授業時間

各時限の開始・終了時刻は以下のとおりです。

1 時限	2 時限	3 時限	4 時限	5 時限	6 時限
8 : 50～10 : 20	10 : 30～12 : 00	12 : 50～14 : 20	14 : 30～16 : 00	16 : 10～17 : 40	17 : 50～19 : 20

③ 単位の認定

単位は、指定された期間に履修登録（⑦履修登録参照）をおこなった科目について、原則として毎回授業に出席し、かつ一定以上の成績を取めた場合に認定されます。

各時限の授業時間は上表のとおり90分間ですが、予習・復習等の時間を含め2時間の学修をしたと見なされます。

同一科目は1度しか単位認定されません（科目名末尾符号が異なるものは別科目とみなします）。授業科目によっては、2つ以上の科目をセットで受講すること、連続したタームで継続して受講することなどが求められるものがありますので、シラバスで確認してください。

④ 試 験

文学部開講科目の試験においては、以下の規則が適用されますので十分留意してください。

- a. 試験の際は、必ず学生証を机の上に置くこと。
- b. 試験開始後30分以上遅刻したものは、原則として受験できない。
- c. 試験開始後30分以上経過しなければ、退出はできない。
- d. 試験中に不正行為、あるいはそれと疑われる行為をしてはならない。不正行為が認められた場合には、学則の定めるところにより懲戒処分の対象とする。

⑤ レポート

授業でレポートを課された場合には、提出方法（千葉大学Moodle、レポートボックス等）を確認してください。

なお、盗用、剽窃等の不正が認められる場合には、懲戒処分の対象となることがあります。

⑥ シラバス

各授業科目のシラバス（概要、目標、授業内容、評価方法・基準などの情報）は千葉大学シラバスで確認できます。

千葉大学シラバス <https://portal.gs.chiba-u.jp/>

（千葉大学学生ポータルトップページ → シラバス検索）

⑦ 履修登録

授業を履修し単位を修得するには、事前の履修登録が必要です。千葉大学学生ポータルより登録してください。ログインに必要なユーザー IDやパスワードについては、ガイダンス時に交付します。詳細な履修登録方法は、別に案内します。

なお、履修登録・修正期間は、本冊子巻頭の学年暦またはMoodle等で必ず確認してください。

期間を過ぎての履修登録や取消は認められません。各自の責任において十分注意してください。特に、通年科目や複数ターム連続で開講される科目は、年度初めあるいはその科目が最初に始まるタームの履修登録期間においてのみ履修登録・取消が認められますので、登録漏れがないようにしてください。

また、学生ポータルでは登録ができない他学部開講の科目等については、担当教員の許可を得たうえで、「履修登録用紙（学部学務室にて配布します。）」に必要事項を記入し、履修登録期間内に学部学務室へ提出してください。

集中授業（タームを通してではなく、特定の集中した期間に行われる授業）については、履修登録期間までに開講日程が決まっていないものがあります。その場合の履修登録手続きは、Moodle等にて通知します（4. 授業・履修・学生生活等に関わる通知参照）。履修登録を希望する場合には、「履修登録用紙」に記入のうえ、掲示された期間内に学部学務室に提出してください。

なお、年次ごとに履修できる単位には上限が設けられていますので、Ⅲ－1. 単位上制限を確認してください。

⑧ 補 講

台風等により、全学で臨時休講措置がとられた場合には、原則として、当該日の授業の補講は予備日（文学部授業カレンダー（表紙裏）参照）に実施します。その場合、授業の時限・教室は、原則として通常どおりとなります。

なお、授業ごとに補講を実施する場合については、授業担当教員の指示に従ってください。補講が重複した場合には、欠席せざるを得ない授業について公欠に準ずる扱いとします。「補講欠席届」の様式は学部学務室で配布しますので、必要事項を記入のうえ授業担当教員に提出してください。

3. 成績について

① 成績評価

成績は、授業科目ごとのシラバスに明示された評価基準に基づき、次のとおり評価されます。

2－③単位の認定もあわせて確認してください。

成績通知表に記載されるのは「評語」のみです。

評語	秀	優	良	可	不可
評点	100～90	89～80	79～70	69～60	59点以下
単位の認定	○	○	○	○	×

② 成績の通知

成績通知の方法および公開日については、Moodle等にてお知らせします。（4. 授業・履修・学生生活等に関わる通知参照）。

③ 成績に関する問い合わせ

通知された成績に疑義がある場合には、当該成績が通知されたターム直後の指定された期間に、問い合わせをすることができます。問い合わせ申請期間については、Moodle等にてお知らせします。問い合わせ申請書は指定様式がありますので、学部学務室窓口で受け取ってください。

④ GPA（Grade Point Average）について

千葉大学では、学習到達度をはかる指標としてGPAを算出し成績通知表に記載しています。GPAの算出方法は以下のとおりです。

$$(4.0 \times \text{秀の単位数}) + (3.0 \times \text{優の単位数}) + (2.0 \times \text{良の単位数}) + (1.0 \times \text{可の単位数})$$

総履修単位数（不可の科目を含む）

ただし、合格または不合格のみで評価することが認められている科目、他大学で修得した単位互換科目、既修得認定科目および卒業要件外の科目はGPAの算出には含まれません。

履修をやめる科目の登録を削除せずにおくと、その科目が「不可」として評価されるためGPAに影響します。履修登録修正期間が終わる前に、必ず科目の削除を行ってください。転コース制度（V－1. 転コース制度参照）、早期卒業制度（V－2. 早期卒業制度参照）、奨学金申請、大学院進学、海外留学等、GPAが学業成績の指標のひとつとして利用される場合があります。

4. 授業・履修・学生生活等に関わる通知

① 千葉大学学生ポータル

千葉大学学生ポータルでは、履修登録のほか、シラバス、休講情報、成績等を確認することができます。また、大学からの重要なお知らせを掲示しますので、Moodle「文学部（全学年向け）」および掲示板（下記②③参照）とあわせて定期的に確認してください。

ログインに必要なユーザー ID やパスワードについては、ガイダンス時に交付します。

② Moodle 「文学部（全学年向け）」

文学部では、授業や履修に関わる通知（履修登録、留学に関すること、教員からのお知らせなど）や学生生活等に関する大切な案内（各種手続き案内、インターンシップに関する事など）は、Moodleにてお知らせしますので、確認しなかったことにより書類の提出や手続きができなかったなどということがないよう、各自の責任において必ず確認してください。

③ 文学部掲示板

Moodleを補足する大切な案内を掲示します。Moodleと同様に、各自の責任において必ず確認してください。

掲示内容	場 所
教室変更、集中講義、資格取得に関する通知等（壁面） 休講情報（ホワイトボード）	文学部棟 1 階 正面入り口ホール
授業、履修、成績、各種ガイダンス、 卒業等に関する通知等	（文学部掲示板）文学部棟 1 階 102講義室外廊下
インターンシップ、奨学金、授業料、 厚生関係情報等	（文学部・法政経学部共通掲示板） 文学部棟 1 階 103講義室外廊下

④ メールの利用

千葉大学では、Google Workspaceの「千葉大学Gmail（学生証番号@student.gs.chiba-u.jp）」を利用します。大学からの重要な通知（一斉送信等）が届きますので、必ず定期的に確認してください。

5. 公欠・臨時休講の取扱い

① 授業の公欠について

公欠とは、通学が困難となる事由が発生した場合に、実際に授業等に参加しなくても「出席」したものとみなす取扱いをする欠席をさします。

千葉大学で公欠事由として定めているのは、下表のとおりです。これに該当する事由で実際に授業を欠席する場合には、学部学務室で検印を受けた「公欠届」を、表の「届の提出時期」までに、授業担当教員に提出する必要があります。「公欠届」の様式は学部学務室で配布しますので、該当する「公欠事由」に対する「添付書類」を持参してください。

その他の事情によりやむを得ず授業を欠席する必要がある場合には、授業担当教員に相談をしてください。

区分	公欠事由	公欠期間	添付書類	届の提出時期
第一号	忌引き（二親等以内）の場合	一親等（父母等）及び配偶者：連続した7日間以内 二親等（祖父母・兄弟姉妹等）：連続した3日間以内	「会葬礼状」等	出席可能となった後一週間以内
第二号	学校保健安全法施行規則第18条に規定する感染症 ^(※1) に罹患した場合、又は感染したおそれがある場合	診断書等に記入されている出席停止期間（2か月を超えた場合を除く）	以下のいずれか ・医療機関発行の「診断書」又は「治癒証明書」 ^(※2) ・総合安全衛生管理機構発行の証明書等	出席可能となった後一週間以内
第三号	教育実習・介護等体験等のうち当該学生の所属する学部教育委員会等の長が必要と認めた場合	実習等に参加する期間		事前または出席可能となった後一週間以内
第四号	課外活動において、関東甲信越大学体育大会、東日本医学生体育大会等又は全国大会以上の大会に出場する場合	大会に出場する期間	実施要項、パンフレット等、日程や参加者等が確認できるもの	事前または出席可能となった後一週間以内

※1 学校保健安全法施行規則第18条に規定する感染症については、千葉大学「学生生活のために」(Web)または文部科学省ウェブサイト等で確認できます。インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、おたふくかぜ（流行性耳下腺炎）、はしか（麻疹）、風疹、水ぼうそう（水痘）、百日咳などがこれに該当します。

第一種指定伝染病（エボラ出血熱、鳥インフルエンザ等）もしくは第三種指定伝染病（コレラ、赤痢、腸チフス等）に罹患した、またその疑いがあると診断された場合には、千葉大学総合安全衛生管理機構（043-290-2214）に速やかに連絡してください。

※2 インフルエンザ（特定鳥インフルエンザを除く。）及び新型コロナウイルス感染症に関する添付書類

インフルエンザ及び新型コロナウイルス感染症については、医療機関が発行した診断書のほか、診療明細書、薬剤情報提供書等を添付書類とし、治癒証明書については提出を要さないものとする。

② 自然災害・交通機関のストライキ等に伴う臨時休講

台風などの荒天や、交通機関のストライキ等により、通学や授業実施が困難と判断される場合には、次のとおり授業を臨時休講とし、大学ウェブサイト、学生ポータル等でもお知らせします。電話での問い合わせは極力控えてください。

1) 自然災害・事故及び交通機関のストライキ等に伴い、各キャンパスの最寄駅（西千葉キャンパスの場合は、JR西千葉駅及び京成みどり台駅）を運行する全線の列車が運行停止となった場合

- ・ 午前6時までに運行しない場合は、第1及び第2時限の授業を臨時休講とする。
- ・ 午前10時までに運行しない場合は、第3、第4及び第5時限の授業を臨時休講とする。
- ・ 正午までに運行しない場合は、第6及び第7時限の授業を臨時休講とする。

2) 台風等により、気象庁から各キャンパスの所在地域（西千葉キャンパスの場合は千葉市稲毛区を含む地域）に「特別警報（高潮及び波浪を除く）」、「暴風警報」又は「暴風雪警報」（以下「警報」という）が発令された場合

- ・ 午前6時までに警報が解除されない場合は、第1及び第2時限の授業を臨時休講とする。
- ・ 午前10時までに警報が解除されない場合は、第3、第4及び第5時限の授業を臨時休講とする。
- ・ 正午までに警報が解除されない場合は、第6及び第7時限の授業を臨時休講とする。
- ・ 授業の開始後、警報が発令された場合は、当日のその後に開始する授業を臨時休講とする。

3) 各キャンパスの最寄駅（西千葉キャンパスの場合は、西千葉駅及びみどり台駅）を運行する全線の列車が運行停止とはなっていないが、台風の接近等により運行停止が見込まれる場合、又はその他の事由により通学及び帰宅が困難と判断される場合

各部局の状況等を勘案し、教育担当理事がキャンパスごとに決定する。なお、台風等により、気象状況が時間の経過とともに悪化することが十分予測される場合は、前日までに休講の決定を行うことがある。

4) 部局の事情により、上記1)～3)の取扱いにより難しい特別の事情がある場合

当該部局長の判断により取扱いを決定することができる。なお、この場合は、当該措置後、速やかに教育担当理事にその状況を報告する。

5) 休講等の措置に係る学生及び教員等への周知方法

千葉大学学生ポータル及びホームページ等を活用し、速やかな周知を図る。

6) 教育実習等の場合の取扱い

教育実習、臨床実習、介護等体験実習及びインターンシップ等の場合は、各実習先の指示に従う。

7) 自然災害等による甚大な被害により、交通機関の復旧が長期にわたる場合

その状況に即し、学長が適宜決定する。

Ⅱ 卒業に必要な要件

本学に規定年数以上在学し（１．在学年数参照）、卒業に必要な単位（２．卒業に必要な単位参照）を修得し卒業研究を終了したことが認められた者には、学士（文学）の学位を授与します。

＜2024（令和6）年度以前の入学生は、入学年度の履修案内を確認してください。＞

1. 在学年数

卒業には、本学に4年以上（3年次編入学生については2年以上）「在学」することが必要です。「休学」や「停学」の期間は、「在学」期間には含まれません。千葉大学海外派遣留学制度等により学籍状態が「留学」となる場合には、「在学」期間に含まれます。なお、早期卒業制度（Ⅴ－2参照）を利用する場合は3年以上の「在学」期間が必要です。

2. 卒業に必要な単位

（外国人留学生については3. 外国人留学生の卒業に必要な単位を参照）

① 卒業要件単位

文学部を卒業するためには、表Ⅱ－1または表Ⅱ－2のとおり「普遍教育科目」、「（文学部）専門教育科目」、「卒業論文」および「自由選択科目」について、それぞれ規定の単位を修得する必要があります。

上記は、あくまで卒業に必要な単位数であり、これを超えて履修することを妨げるものではありません。本学では履修証明（サーティフィケート）プログラム（Ⅶ参照）をはじめ、多様な分野の知識、技能、経験などを修得できる様々な学修機会が用意されていますので、積極的に履修してください。

それぞれの科目区分の履修については、Ⅳ－1. 普遍教育科目、Ⅳ－2. 専門教育科目、Ⅳ－3. 卒業論文、Ⅳ－4. 自由選択科目を参照してください。

また、行動科学コース先進科学プログラムの学生は、先進科学センター履修案内もあわせて確認してください。

② 卒業要件単位における「メディア授業科目」による修得単位数の上限適用について

千葉大学では、授業の実施方法として、対面授業に加えメディア授業を取り入れており、全ての授業回数のうち半数を超える回数をメディア授業で実施する授業については「メディア授業科目」と呼んでいます。

「メディア授業科目」については、卒業に必要な単位数に含めることのできる単位数の上限が60単位となりますので、履修を計画する際は、シラバス等で授業の実施方法を確認のうえ、卒業までに単位数の上限を超えないように十分留意してください。

(表Ⅱ－１) 一般学生用

科目区分 コース	普遍教育科目								専門教育科目			卒業論文	自由選択	卒業単位数	
	国際発展科目群			地域発展科目群		学術発展科目群			計	共通基礎科目	専門科目				計
	英語科目	初修外国語科目	国際科目	スポーツ・健康科目	地域科目	教養コア科目	教養展開科目	数理・データサイエンス科目							
人文学科全コース	6～10	0～4	2	0～2	2	4	5～9	3	26	32	46	78	8	12	124
	8～12			2～4		12～16									
行動科学コース 先進科学プログラム 人間探求先進クラス	8～12	0～4	2	0～2	2	4	5～9	3	28	32	60	92	8	12	140
	10～14			2～4		12～16									

(表Ⅱ－２) ３年次編入学生用

※2022年度入学者から適用

科目区分 コース	普遍教育科目									専門教育科目			卒業論文	自由選択	卒業単位数
	国際発展科目群			地域発展科目群		学術発展科目群			計	共通基礎科目	専門科目	計			
	英語科目	初修外国語科目	国際科目	スポーツ・健康科目	地域科目	教養コア科目	教養展開科目	数理・データサイエンス科目							
人文学科全コース	6～10	0～4	0～2	0～2	0～2	0～4	5～9	2*～3	26	32	46	78	8	12	124
	8～12			2～4		12～16 （*「情報リテラシー科目」を必ず履修）									

(重要)

表Ⅱ－１及び表Ⅱ－２のとおり、普遍教育科目では、各区分の必要最低単位を修得しただけでは必要な合計単位数を満たすことは出来ません。単位数に幅のある科目区分において調整し、合計単位数が26（行動科学コース先進科学プログラムは28）となるよう履修してください。

3. 外国人留学生の卒業に必要な単位

外国人留学生の卒業要件は下表のとおりです。専門教育科目については他の学部生と同様ですので、Ⅱ－2. 卒業に必要な単位もあわせて確認してください。

(表Ⅱ－3) 外国人留学生用

科目区分 コース	普遍教育科目									専門教育科目			卒業論文	自由選択	卒業単位数	
	国際発展科目群				地域発展科目群		学術発展科目群			計	共通基礎科目	専門科目				計
	英語科目	日本語科目	初修外国語科目	国際科目	スポーツ・健康科目	地域科目	教養コア科目	教養展開科目	数理・データサイエンス科目							
人文学科全コース	6～10	0～4	0～4	2	0～2	2	4	5～9	3	26	32	46	78	8	12	124
	8～12				2～4		12～16									

(注意)

1) 普遍教育科目について

- 日本語科目を履修する場合は、「日本語 8 * *」「日本語 7 * *」及び「日本語 6 * *」(*は数字。科目により異なる)の中から各自の日本語能力に応じた科目を2年次までに履修してください。
詳しくは普遍教育『Guidance ～』外国人留学生の履修案内に関するページを確認してください。
- 英語科目については、英語を母語とする者は英語以外の外国語を履修してください。

(重要)

表Ⅱ－3のとおり、普遍教育科目では、各区分の必要最低単位を修得しただけでは必要な合計単位数を満たすことは出来ません。単位数に幅のある科目区分において調整し、合計単位数が26となるよう履修してください。

4. 全員留学について

① 留学の必修化

本学部を卒業するためには、在学中に1回以上留学し、当該留学に係る単位を修得（2単位以上）することが必要です。この場合の科目は、本学部で開講している専門教育科目に限らず、普遍教育科目で開講する科目も適用されます。各自の履修計画に応じて、希望するプログラムを選択し履修してください。

② 外国人留学生および3年次編入学生

1) 外国人留学生（外国人留学生のための卒業要件適用者）については、当該学生が希望しない場合は海外留学を免除します。

2) 3年次編入学生については、当該学生が希望しない場合は海外留学を免除もしくは代替措置科目に関する単位修得をもって海外留学に替えることができます。

※3年次編入学者に対しての適用は、2022年度以降となります。

③ 留学代替措置に関する手続

やむを得ない事情で留学することができない場合は、別途指定する科目の単位を修得することにより、留学に替えることができます。この留学代替措置に関する申請手続、代替措置科目等については、学部学務室の窓口において確認してください。

④ 留学に関する経済的支援措置

学士課程在学中初回の留学に限り、渡航費等に対し経済的支援を行います。

⑤ 留学申請

留学の内容によって異なりますので、詳細はMoodle等で確認してください。特に、独自に計画する留学の場合は、事前に審査を行いますので、原則として留学の3か月前までの申請が必要です。

⑥ 単位認定

留学により修得した単位は、学生からの申請に基づき、審査により認められた場合、下記1)～4)の単位を合わせて60単位まで卒業要件単位として認定されます。

認定された科目の成績は「認定」の評価となり、GPAの算定からは除外されます。また、単位上限の算定にも含まれません。

1) 文学部専門科目「全員留学認定科目」2単位

2) 読み替えが可能な文学部専門科目

3) 文学部専門科目「派遣留学認定科目1～4」

（各2単位。1～4の順に最大8単位まで）

4) 読み替えが可能な普遍教育科目

⑦ 単位認定申請

単位認定の申請にあたっては、留学後、以下の必要書類を学部学務室窓口に提出してください。

- | | | |
|---|-------------------------------|---|
| 〔 | 毎年 6 月15日までに申請：当該年度前期の単位として認定 | 〕 |
| | 毎年 1 月15日までに申請：当該年度後期の単位として認定 | |

※上記期限の締切が休日にあたる場合、翌月曜日を申請期限とします。

- 1) 海外留学修得単位認定申請書
- 2) 留学先大学が発行した成績証明書（原本）
- 3) 留学先大学で履修した授業科目のシラバス（授業内容、授業時間・回数等がわかるもの）

審査に時間がかかるので、特に卒業年度の学生は、早めに申請してください。なお、不明な点は必ず事前に学部学務室に問合せ、申請に不備のないようにしてください。

審査の結果により、単位が認定されない、または、申請と異なる授業科目名で認定されることがあることに留意してください。

Ⅲ 単位に関すること

<2024（令和6）年度以前の入学生は、入学年度の履修案内を確認してください。>

1. 単位上限制

文学部では学生の自宅学習を含む学習活動を活性化し、同時に厳格な成績評価を実施するため、履修登録できる単位数に以下のとおり上限を設けています。

ただし、3年次編入学試験によって入学した者については、この上限制度によらず履修を認めます。

① 各コースの上限（T1-3：第1ターム～第3ターム、T4-6：第4ターム～第6ターム）

a. 全コース（行動科学コース先進科学プログラムを除く）

1 年次		2 ～ 4 年次	
T1-3	T4-6	T1-3	T4-6
23～25単位	21～23単位	20単位	20単位
(合計46単位まで)			

b. 行動科学コース先進科学プログラム（人間探求先進クラス）

1 年次		2 年次		3 ・ 4 年次	
T1－3	T4－6	T1－3	T4－6	T1－3	T4－6
26～30単位	24～28単位	22単位	22単位	20単位	20単位
(合計54単位まで)					

※先進科学センター履修案内の申合わせを確認してください。

② 上限の算定に含まれない科目

次に該当する授業科目は、単位上限の算定には含みません。

a. 資格取得に関する科目

- ・教育職員免許状に関する科目

ただし、「教科に関する専門的事項」および「その他（教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目）」科目は単位上限の算定に含みます。

- ・学芸員に関する科目
- ・司書に関する科目

b. 集中形式により開講される講義、演習および実習科目

ただし、人文科学入門および卒業論文関連科目等の必修科目は単位上限の算定に含みます。

c. 外国語検定試験による単位認定、海外派遣留学制度等による単位互換、既修得単位認定等による「認定」科目

③ 上限を超えて履修登録が認められる条件

T1－T3（またはT4－T6）において、以下の条件を満たしている場合には、その直後のT4－T6（またはT1－T3）において原則として6単位まで超過して履修登録することを認めます。

a. 全コース（行動科学コース先進科学プログラムを除く）

- ・登録上限単位数の95%以上の単位を登録し、かつGPAが3.00以上であること

b. 行動科学コース先進科学プログラム（人間探求先進クラス）

- ・履修登録が認められた単位数の上限、またはその上限から1単位減じた単位数の卒業要件科目を履修登録していること
- ・履修登録した卒業要件科目の単位（T1－T3においては通年開講科目の単位を除く）をすべて履修し、かつGPAが3.00以上であること

その他特段の事情により上限単位以上の履修を希望する場合には、履修に先立って学部学務室へ相談してください。

Ⅳ 科目区分について

<2024（令和6）年度以前の入学生は、入学年度の履修案内を確認してください。>

1. 普遍教育科目

本学の学部生は、各学部のコース等において専門分野の知識・経験を深めることとあわせて、それぞれの専門をより広い学問世界の中に位置づける能力を養うために、全学の教員による協力体制のもとで編成される普遍教育科目を履修することになっています。

文学部の学生は、表Ⅱ－1（p.15）から表Ⅱ－3（p.16）のとおり、それぞれの科目区分の必要単位数を満たしたうえで、合計26単位以上修得することが卒業のための要件です。各科目区分の概要は以下のとおりです。詳細については、普遍教育『Guidance～』を参照してください。

普遍教育科目における「国際科目」、「地域科目」および「数理・データサイエンス科目」の各選択科目にあたる「**科目（展開）」については、文学部の指定した専門教育科目を横断科目として当該科目区分に振り替えることもできます。この振り替えを行うには、4年次に「科目区分変更手続き」が必要です。

上記横断科目として指定する文学部専門教育科目は、Moodle等にてお知らせします。

① 国際発展科目群

1) 英語科目

技能別の科目、応用力養成のための科目、習熟度別の科目などが開講されています。1,2年生対象の科目は、文学部生に割り当てられた曜日・時限（指定クラスブロック）で履修してください。

2) 初修外国語科目

ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、イタリア語、朝鮮語（韓国語）およびロシア語が開講されています。ドイツ語、フランス語、中国語については、文学部生に割り当てられた指定クラスブロックの科目を履修してください。

なお、一部の初修外国語については、検定試験の級位により単位認定を行う制度があります。詳細は、普遍教育『Guidance～』を参照してください。申請期間および方法等については、Moodle等にてお知らせします。

3) 国際科目

普遍教育科目として開講している国際科目は、必修科目である「国際科目（基礎）」と、選択科目である「国際科目（展開）」から構成されています。「国際科目（基礎）」は、文学部生に割り当てられた曜日・時限（指定クラスブロック）で履修してください。

② 地域発展科目群

1) スポーツ・健康科目

実技科目と講義科目があります。教員免許の取得には、卒業要件単位にかかわらず、2単位が必要です。

2) 地域科目

普遍教育科目として開講している地域科目は、必修科目である「地域科目（基礎）」と、選択科目である「地域科目（展開）」から構成されています。「地域科目（基礎）」は、文学部生に割り当てられた曜日・時限（指定クラスブロック）で履修してください。

③ 学術発展科目群

1) 教養コア科目

複数分野の導入的な知識と学問観を修得するとともに、それを通して学問そのものへの興味・関心を喚起することを目的とした科目で、以下の4群に分けられています。各科目群で開講される科目のうち1科目を選択し、全科目群で1科目ずつ、合計4科目（4単位）の履修が必要です。文学部生に割り当てられた指定クラスブロックの科目を履修してください。

- a. 論理コア（論理・哲学・社会）
- b. 生命コア（生命・心理・発達）
- c. 文化コア（文化・芸術・歴史）
- d. 環境コア（環境・生活・科学）

2) 教養展開科目

教養コア科目の履修をととして喚起された学問への興味・関心を拡大、深化させ、豊かな教養へと結びつける科目です。教員免許、学芸員資格、司書資格などの取得に必要な科目の一部も開設されています。また、国際日本学、ローカル・イノベーション学および数理・データサイエンス教育プログラムの対象となっている科目もあります。

3) 数理・データサイエンス科目

普遍教育科目として開講している数理・データサイエンス科目は、必修科目である「数理・データサイエンス科目（基礎）」と、選択科目である「数理・データサイエンス科目（展開）」から構成されています。「数理・データサイエンス科目（基礎）」は、全学共通の必修科目「情報リテラシー」（2単位）を履修します。「情報リテラシー」は、文学部生に割り当てられた曜日・時限（指定クラスブロック）で履修してください。

④ その他

1) 学部開放科目

各学部が開講している専門科目の一部を、学部の壁を越えて提供するもので、文学部生が履修した場合は「教養展開科目」として認定します。ただし、所属コースが開講している科目の場合には「専門教育科目」として認定されます。

2) 放送大学の開講科目

放送大学で開設されている授業科目のうち本学の指定した科目を、普遍教育科目として履修することができます。受講には放送大学の規定による手続きと費用が必要です。

3) 千葉圏域コンソーシアム（神田外語大学・敬愛大学・城西国際大学）の開講科目

本学は、神田外語大学、敬愛大学、城西国際大学との間で単位互換協定を取り交わしています。各大学がコンソーシアムに開放している科目については、特別聴講学生として単位を修得し、普遍教育科目等の単位とすることができます。出願期間・方法は大学ごとに異なりますので、普遍教育担当窓口（総合校舎1号館1階）に問い合わせてください。

2. 専門教育科目

専門教育科目は、文学部生の学修の中心となるものです。文学部生は、下表のとおり、各コースで定められた専門教育科目、自由選択科目および卒業論文を修得しなければなりません。

（表Ⅳ－1）

区分 コース	専門教育科目			卒業論文	自由選択	
	共通基礎科目	専門科目				計
		講義科目	演習・実習科目			
行動科学コース	32	46		78	8	12
行動科学コース 先進科学プログラム (人間探求先進クラス)	32	60		92	8	12
歴史学コース	32	46		78	8	12
日本・ユーラシア文化コース	32	46		78	8	12
国際言語文化学コース	32	46 ただし、演習・実習科目を 16単位以上履修すること。		78	8	12

① 卒業要件として認められる科目

入学年度の履修案内の「科目一覧」に掲載されている科目区分・科目に従って履修してください。ただし、入学年度以降に新規に科目が設置された場合については、文学部では入学年度に関わりなく、その科目が規定された科目区分の単位として履修が認められます。

② 共通基礎科目

千葉大学文学部は他の学部、さらには他大学の文学部と比較しても非常に多彩な授業科目を開設しています。学部教育は特定の専門分野に限らず、幅広く人文科学に関わる基礎的な知識を学ぶ機会でもありと考え、カリキュラムに「共通基礎科目」を設けて卒業要件としています。該当する科目一覧はⅧ－1. 共通基礎科目一覧を参照してください。

共通基礎科目の「人文科学入門」は、全コースにおいて1年次の必修です。また、コースまたは専修により履修年次指定のある（選択）必修科目等が含まれていますので、各コースのガイダンス等で確認してください。行動科学コース先進科学プログラムの学生は、先進科学センター履修案内もあわせて確認してください。

なお、専修への振り分けを行うコースでは、必修科目の他にも専修により履修を強く推奨する科目がありますので、各コースまたは専修の教員に確認してください。

共通基礎科目は、幅広く人文科学諸分野の基礎的方法論を学ぶ科目、より普遍的な学問的基盤を学ぶ科目、社会性や国際性を養う科目等により構成されています。なかでも、「人文科学の課題」は、特定のテーマのもとに人文科学の先端的な課題を扱うプロジェクト型科目として設定されており、4単位以上の履修を推奨します。

また、地域の新聞社、文化振興団体、官公庁などにおける就業体験（インターンシップ）について単位認定をおこなう「人文学地域インターンシップ」、海外の連携高等教育機関における日本語・日本文化教育の現場において日本文化の位置付けと文化理解に関わる課題を考察する「人文学国際インターンシップ」も、共通基礎科目のひとつです。詳細についてはシラバスを確認してください。

③ 専門科目

1) 授業形態等

専門科目は、授業の形態や内容によって、以下の2群に分けられます。

講義科目	専門分野の概説や、専門的な領域についての講義を中心とする科目
演習・実習科目	学生の主体的な参加による資料の分析や討論、調査、実験等を中心とする科目

各コースの専門科目は、Ⅷ-2. 専門科目一覧を参照してください。コースごとに履修年次指定のある必修科目があります。国際言語文化学コースでは、演習・実習科目について必要単位数が定められていますので注意してください（表Ⅳ-1参照）。

なお、一部の専門科目については、複数コースにおいて共通する専門科目となっています。

また、上記とは別に、他学部及び他コースが開講する専門科目について、8単位まで自コースの専門科目として認定します。この認定を受けるには「科目区分変更手続き」が必要です。この手続きは4年次に受付けます。申請期間および方法等については、Moodle等にてお知らせします。

行動科学コース先進科学プログラムの学生は、先進科学センター履修案内もあわせて確認してください。

2) 専門英語

2年次以上の学生は、専門英語科目の履修が必須となります。各コース（専修）が指定する「人文科学専門英語」（2単位）を履修してください。

3. 卒業論文

文学部では、すべてのコースにおいて、卒業論文が4年次の必修科目です。

卒業論文についても必ず履修登録が必要です。卒業論文は通年科目のため、第1タームの履修登録期間にしか履修登録が認められませんので（I-2. ⑦履修登録参照）、4年次には登録を忘れないようにしてください。コースによっては、卒業論文作成のための導入科目が3年次の必修となっており、この単位を修得しないと卒業論文の単位が修得できませんので注意してください。

なお、早期卒業制度の認定を希望する場合は、V-2. 早期卒業制度をあわせて確認してください。

卒業論文の提出については、以下に留意してください。

- 1) 卒業論文は、1月12日の17時00分までに、1部を学部学務室窓口に提出してください。ただし、1月12日が土曜日、日曜日もしくは成人の日（祝日）にあたる場合には、成人の日の翌日（火曜日）17時00分を提出期限とします。また、1月12日が大学入学共通テスト準備のための臨時休業日にあたる場合には、1月15日（月曜日）17時00分を提出期限とします。

提出期限（日・時刻）は厳守してください。期限後に提出があっても受理しませんので、時間に余裕を持って提出してください。

提出期限についてはMoodle等でも通知しますので、卒業年度の学生は必ず確認してください。

- 2) 卒業論文には「卒業論文題目届」を1部添えてください。指定様式は学部学務室窓口で事前に受け取り、記入を済ませておいてください。
- 3) 卒業論文の体裁（綴じ方、表紙に記載する事項など）は、事前に各コースまたは専修に確認してください。
- 4) 9月卒業を希望する者に対しては、別途、卒業論文提出期限を定め、Moodle等にて周知します。

4. 自由選択科目

「自由選択」の区分には、普遍教育科目、専門教育科目を問わず、原則として千葉大学で開講されているすべての科目を算入することができます。なお、「全員留学認定科目」は、「自由選択」の区分に算入されません。

コースごとの履修要件をもとに自動的に「自由選択」の区分に算入されるよう設定されている科目もありますが、普遍教育科目や専門教育科目の各区分における余剰単位、あるいは「その他」の区分として振り分けられる科目（他学部開講科目等）を「自由選択」として算入したい場合には、「科目区分変更手続き」が必要です。この手続きは4年次に受付けます。申請期間および方法等については、Moodle等にてお知らせします。

5. 大学院授業科目の先行履修制度

本学では、令和2年度より、学部・大学院の円滑な接続を図ることを目的として、学部在学中に大学院授

業科目の履修を可能とする「先行履修制度」を導入しました。

本制度により、学部の卒業年次に在籍し、引き続き本学大学院への進学を希望する学生は、履修要件を満たすことにより、学部在学中に、進学先の研究科・学府にて開講される指定科目及び大学院共通教育科目の指定科目を受講することができ、当該科目の単位を修得した場合は、進学後に、進学先の研究科・学府における単位として認定を受けることができます。

本制度の詳細や指定科目の一覧については、本学ホームページの「教育」のページを参照してください。

千葉大学ホームページ <https://www.chiba-u.ac.jp/academics/course/senkorishu.html>

V 転コース・早期卒業制度

1. 転コース制度 <2015（平成27）年度以前の入学生には適用しません。>

文学部では、入学したコースから文学部の他コースへの変更（転コース）ができる制度を設けています。転コースを希望する学生は、7月頃から配付する「文学部転コースに関する要項（1年次学生対象，2年次以上の学生対象）」にて、申請の要件等を確認してください。

2. 早期卒業制度

文学部では、平成27年度入学者より、早期卒業制度を導入しています。この制度の適用を申請するためには、所定の期日までに申請書を提出する必要がありますので、希望する場合には学部学務室へ問い合わせてください。

① 申請にあたっての条件（以下のすべてを満たしていること）

- 1) 2年次終了時までに卒業に必要な単位として84単位以上（先進科学プログラム人間探求先進クラスの学生については98単位以上）を修得していること
- 2) 2年次終了時までの通算GPAが3.00以上であること
- 3) 学習意欲，学習計画が十分明確であり，所属コース長から推薦をえられること

② 早期卒業の認定を受けるための条件（以下のすべてを満たしていること）

- 1) 文学部に3年以上「在学」していること
- 2) 卒業要件単位をすべて修得していること
- 3) 早期卒業認定時までの通算GPAが3.00以上であること
- 4) 早期卒業制度申請者に対して実施される総合学力評価試験等によって，学力が優秀であると認定されること

Ⅵ コース・ナンバリング・システム， カリキュラム・ツリーおよびカリキュラム・マップ

千葉大学では、学習の段階や順序、授業科目間のつながり、カリキュラムの体系性などを可視化する試みとして、以下のとおりコース・ナンバリング・システム、カリキュラム・ツリーおよびカリキュラム・マップを提供しています。

1. コース・ナンバリング・システム

コース・ナンバリング・システム（以下、ナンバリング）は、千葉大学が提供する授業科目を、学部やコース等を示す文字コード2桁と、授業科目の水準等を示す数字3桁を組み合わせて識別するものです。

文学部設置科目のナンバリングは、原則として以下のとおり決められています。

(授業科目名)	(ナンバリング)	
例：「人文科学入門Ⅰa」	<u>L</u> <u>X</u> <u>1</u> <u>0</u> <u>0</u>	⇒ <u>文学部開講の</u> ， <u>共通基礎科目</u> で， <u>入門レベルの科目</u>
	① ② ③	① ② ③

① 科目を開講する学部を表すコードです。Lは文学部を示します。

② 科目を開講するコース等を表すコードです。文学部の科目については、原則として次のとおり示しています。

X：共通基礎科目 B：行動科学コース H：歴史学コース

N：日本・ユーラシア文化コース I：国際言語文化学コース

Y：図書館司書科目

③ 科目の水準を表すコードです。文学部では原則として、以下の基準により示しています。

100番台：入門，導入レベルの科目

200番台：発展，応用的内容を扱う科目

300番台：実践的，専門的に高度な内容を扱う専門科目

400番台：学士課程で学修する最終段階レベルの科目

それぞれの授業科目のナンバリングは、シラバスに記載されています。また、Ⅷ 文学部人文学科設置科目一覧において確認できます。

2. カリキュラム・ツリーおよびカリキュラム・マップ

カリキュラム・ツリーおよびカリキュラム・マップは、各コースまたは専修におけるカリキュラムの年次進行や授業科目間のつながりなどの体系性を、ナンバリングの水準コード（1. コース・ナンバリング・システム参照）を利用して表した履修系統図です。大学ウェブサイト、Moodle等で確認ができます。

Ⅶ 副専攻・サーティフィケートプログラム

千葉大学および文学部では、個々の関心に応じた専門性を深めるとともに、幅広い教養を身に付け、地球規模のグローバルな課題と地域社会に密着したローカルな課題の双方の解決に取り組んでいける人材の養成を目指しており、そのための多様な学修・経験の機会を提供しています。

特に以下のプログラムについては、規程の単位を修得することで修了証書または履修証明書が交付されます。卒業要件となる普遍教育科目や専門教育科目としても重複して認定できる科目も多くありますので、積極的に履修してください。

1. アジア・ユーラシアプログラム

平成28年度より設置された、文学部におけるコース横断型の副専攻です。

文学部における研究の強みの一つに、中国・モンゴル・ロシアなど、東アジア・ユーラシア地域研究が挙げられます。一般的な「国際性」知識の獲得のみならず、アジア・ユーラシア地域に焦点化した「国際性」の獲得を目的とするプログラムです。

(プログラム修了により交付されるもの)

アジア・ユーラシアプログラム履修証明

(修了要件)

アジア・ユーラシアプログラム科目として指定されている以下の科目の中から18単位。ただし、共通基礎科目、ならびに他コース開講科目を合計8単位以上含むこと。

アジア・ユーラシアプログラム科目

＜共通基礎科目＞

日本史基礎、アジア史基礎、国際交流論、中国文学論、中国語応用、ユーラシア人類学基礎、日本・ユーラシア文化論基礎、アイヌ語、ロシア語、ロシア文化論、人文科学の課題：世界を知る、人文科学の課題：地域を知る、人文学国際インターンシップ

＜専門科目＞

東洋哲学概説、東洋哲学講読、家族社会学、地域社会学、生態人類学、日本美術史、東アジア地域史、東アジア近代史、東南アジア地域史、イスラーム地域史、日本思想論、古代文化論、中世文化論、近世文化論、近代文学論、アイヌ文化論、東北アジア文化論、内陸アジア文化論、ユーラシア言語論、ユーラシア文化論、ユーラシア言語類型論、ユーラシア口承文芸論、ロシア語学概説、ロシア語会話、多言語多文化接触論

2. 国際日本学

<https://global-education.chiba-u.jp/course/>

「国際日本学」は、普遍教育科目と学部の専門教育科目を横断する全学副専攻プログラムです。

詳細は冊子「国際日本学」または上記ウェブサイトで確認してください。

3. ローカル・イノベーション学

<https://cocp.chiba-u.jp/local.html>

「ローカル・イノベーション学」は、普遍教育科目と学部の専門教育科目を横断する全学副専攻プログラムです。

詳細は冊子「ローカル・イノベーション学手引き」または上記ウェブサイトで確認してください。

4. 数理・データサイエンス教育プログラム

<https://mds.chiba-u.jp/minor.html>

「数理・データサイエンス教育プログラム」は、普遍教育科目、共通専門基礎科目と学部の専門教育科目を横断する全学副専攻プログラムです。

詳細は冊子「数理・データサイエンス教育プログラム手引き」または上記ウェブサイトで確認してください。

5. 環境サステナビリティ実践学

<https://environmental-sustainability.gs.chiba-u.jp>

「環境サステナビリティ実践学」は、普遍教育科目と学部の専門教育科目を横断する全学副専攻プログラムです。

詳細は冊子「環境サステナビリティ実践学」または上記ウェブサイトで確認してください。

Ⅷ 文学部人文学科設置科目一覧

次ページ以降は、文学部人文学科において設置されている科目一覧です。すべての科目が毎年開講されるとは限りません。各授業の内容等については、開講年度のウェブシラバスを確認してください。

1. 共通基礎科目 (p. 32 ～ p. 34)

2. 専門科目

- ① 行動科学コース (p. 35 ～ p. 40)
- ② 歴史学コース (p. 41 ～ p. 44)
- ③ 日本・ユーラシア文化コース (p. 45 ～ p. 48)
- ④ 国際言語文化学コース (p. 49 ～ p. 52)

3. 文学部が開講する司書科目 (p. 52)

1. 共通基礎科目（平成27年度以前入学者：読み替え対応科目については、平成31年度履修案内を参照してください。なお、科目区分については、入学年度履修案内の「他学科指定文学部共通科目一覧」も参照してください。）

ナンバリング	人文学科設置授業科目名	履修年次	単位数	備 考
LX100	人文科学入門Ⅰ a（全コース必修）	1	1	
LX100	人文科学入門Ⅰ b（全コース必修）	1	1	
LX100	人文科学入門Ⅱ a（全コース必修）	1	1	
LX100	人文科学入門Ⅱ b（全コース必修）	1	1	
LX161	哲学基礎	1・2	2	
LX162	認知情報科学基礎	1・2	2	
LX163	心理学基礎	1・2	2	
LX164	社会学基礎	1・2	2	
LX165	文化人類学基礎	1・2	2	
LX178	日本史基礎 a	1・2	1	「日本史基礎 a（2単位）」履修者は履修できません。
LX178	日本史基礎 b	1・2	1	「日本史基礎 b（2単位）」履修者は履修できません。
LX179	世界史基礎 a	1・2	1	「世界史基礎 a（2単位）」履修者は履修できません。
LX179	世界史基礎 b	1・2	1	「世界史基礎 b（2単位）」履修者は履修できません。
LX175	文化資料論基礎 a	1・2	2	
LX175	文化資料論基礎 b	1・2	2	
LX176	文化資料論基礎 c	1・2	2	
LX176	文化資料論基礎 d	1・2	2	
LX177	文化資料論基礎 e	1・2	2	
LX275	文化資料論基礎演習 a	1・2	2	
LX276	文化資料論基礎演習 b	1・2	2	
LX276	文化資料論基礎演習 c	1・2	2	
LX271	史科学基礎演習 a	1・2	2	
LX271	史科学基礎演習 b	1・2	2	
LX272	史科学基礎演習 c	1・2	2	
LX274	史科学基礎演習 d	1・2	2	
LX273	史科学基礎演習 e	1・2	2	
LX277	考古学基礎実習 a	1	1	
LX277	考古学基礎実習 b	1	1	
LX278	文化財学基礎実習 a	1	1	
LX278	文化財学基礎実習 b	1	1	
LX172	アジア史基礎 a	1・2	2	
LX172	アジア史基礎 b	1・2	2	
LX173	アジア史基礎 c	1・2	2	
LX174	ヨーロッパ・アメリカ史基礎 a	1・2	2	
LX174	ヨーロッパ・アメリカ史基礎 b	1・2	2	
LX180	日本・ユーラシア文化論基礎 a	1・2	2	
LX180	日本・ユーラシア文化論基礎 b	1・2	2	
LX181	言語学基礎 a	1・2	2	
LX181	言語学基礎 b	1・2	2	
LX182	日本語学基礎 a	1・2	2	
LX182	日本語学基礎 b	1・2	2	
LX183	ユーラシア人類学基礎	1・2	2	
LX190	英語圏文化論基礎 a	1・2	2	
LX190	英語圏文化論基礎 b	1・2	2	
LX191	比較文化論基礎 a	1・2	2	
LX191	比較文化論基礎 b	1・2	2	
LX192	英語学概説 a	1・2	2	
LX192	英語学概説 b	1・2	2	
LX196	国際交流論 a	1・2	1	「国際交流論 a（2単位）」履修者は履修できません。
LX193	国際交流論 b	1・2	2	
LX196	国際交流論 c	1・2	1	「国際交流論 c（2単位）」履修者は履修できません。
LX193	国際交流論 d	1・2	2	
LX107	人文科学の課題：世界を知る a 1	1・2	1	「人文科学の課題：世界を知る a」の読み替え科目
LX107	人文科学の課題：世界を知る a 2	1・2	1	

ナンバ リング	人文学科設置授業科目名	履修年次	単位数	備 考
LX107	人文科学の課題：世界を知る b1	1・2	1	「人文科学の課題：世界を知る b」の読み替え科目
LX107	人文科学の課題：世界を知る b2	1・2	1	
LX131	ラテン語入門 a	1・2・3・4	2	
LX131	ラテン語入門 b	1・2・3・4	2	
LX131	ラテン語入門 c	1・2・3・4	2	
LX131	ラテン語入門 d	1・2・3・4	2	
LX135	古典ギリシア語入門 a	1・2・3・4	2	
LX135	古典ギリシア語入門 b	1・2・3・4	2	
LX135	古典ギリシア語入門 c	1・2・3・4	2	
LX135	古典ギリシア語入門 d	1・2・3・4	2	
LX141	サンスクリット語入門 a	1・2・3・4	2	
LX141	サンスクリット語入門 b	1・2・3・4	2	
LX141	サンスクリット語入門 c	1・2・3・4	2	
LX141	サンスクリット語入門 d	1・2・3・4	2	
LX145	アイヌ語 a	1・2・3・4	2	
LX145	アイヌ語 b	1・2・3・4	2	
LX240	中国語応用 a	1・2・3・4	2	
LX240	中国語応用 b	1・2・3・4	2	
LX147	ドイツ語 a	1・2・3・4	2	
LX147	ドイツ語 b	1・2・3・4	2	
LX247	ドイツ語 c	1・2・3・4	2	
LX247	ドイツ語 d	1・2・3・4	2	
LX151	フランス語 a	1・2・3・4	2	
LX151	フランス語 b	1・2・3・4	2	
LX151	フランス語 c	1・2・3・4	2	
LX151	フランス語 d	1・2・3・4	2	
LX153	ロシア語 a	1・2・3・4	2	
LX153	ロシア語 b	1・2・3・4	2	
LX253	ロシア語 c	1・2・3・4	2	
LX253	ロシア語 d	1・2・3・4	2	
LX155	スペイン語 a	1・2・3・4	2	
LX155	スペイン語 b	1・2・3・4	2	
LX157	英会話 a	1・2・3・4	2	
LX157	英会話 b	1・2・3・4	2	
LX159	英作文 a	1・2・3・4	2	
LX159	英作文 b	1・2・3・4	2	
LX118	中国文学論 a	1・2・3・4	2	
LX118	中国文学論 b	1・2・3・4	2	
LX290	アメリカ文化論 a	1・2・3・4	2	
LX290	アメリカ文化論 b	1・2・3・4	2	
LX291	フランス文化論 a	1・2・3・4	2	
LX291	フランス文化論 b	1・2・3・4	2	
LX292	ドイツ語圏文化論 a	1・2・3・4	2	
LX292	ドイツ語圏文化論 b	1・2・3・4	2	
LX293	ロシア文化論 a	1・2・3・4	2	
LX293	ロシア文化論 b	1・2・3・4	2	
LX223	人文学国際インターンシップ a	1・2・3・4	2	
LX223	人文学国際インターンシップ b	1・2・3・4	2	
LX213	人文学国際フィールドワーク a	1・2・3・4	2	
LX213	人文学国際フィールドワーク b	1・2・3・4	2	
LX130	現代社会で働くこと a	1・2	1	「現代社会で働くこと a（2単位）」履修者は履修できません。
LX130	現代社会で働くこと b	1・2	1	「現代社会で働くこと b（2単位）」履修者は履修できません。
LX108	人文科学の課題：地域を知る a1	1・2	1	「人文科学の課題：地域を知る a」の読み替え科目
LX108	人文科学の課題：地域を知る a2	1・2	1	

ナンバ リング	人文学科設置授業科目名	履修年次	単位数	備 考
LX108	人文科学の課題：地域を知る b 1	1・2	1	「人文科学の課題：地域を知る b」の読み替え科目
LX108	人文科学の課題：地域を知る b 2	1・2	1	
LX108	人文科学の課題：地域を知る c 1	1・2	1	「人文科学の課題：地域を知る c」の読み替え科目
LX108	人文科学の課題：地域を知る c 2	1・2	1	
LX108	人文科学の課題：地域を知る d 1	1・2	1	
LX108	人文科学の課題：地域を知る d 2	1・2	1	
LX201	博物館学 a	2・3・4	2	
LX202	博物館学 b	2・3・4	2	
LX205	大学図書館論	2・3・4	2	
LX206	電子図書館論	2・3・4	2	
LX113	地誌 a	1・2・3・4	2	
LX113	地誌 b	1・2・3・4	2	
LX114	自然地理学 a	1・2・3・4	2	
LX114	自然地理学 b	1・2・3・4	2	
LX116	人文地理学 a	1・2・3・4	2	
LX116	人文地理学 b	1・2・3・4	2	
LX221	人文学地域インターンシップ a	1・2・3・4	2	
LX221	人文学地域インターンシップ b	1・2・3・4	2	
LX109	人文科学の課題：先端研究の成果を知る a 1	1・2	1	「人文科学の課題：先端研究の成果を知る a」の読み替え科目
LX109	人文科学の課題：先端研究の成果を知る a 2	1・2	1	
LX109	人文科学の課題：先端研究の成果を知る b 1	1・2	1	「人文科学の課題：先端研究の成果を知る b」の読み替え科目
LX109	人文科学の課題：先端研究の成果を知る b 2	1・2	1	
LX109	人文科学の課題：先端研究の成果を知る c 1	1・2	1	「人文科学の課題：先端研究の成果を知る c」の読み替え科目
LX109	人文科学の課題：先端研究の成果を知る c 2	1・2	1	
LX109	人文科学の課題：先端研究の成果を知る d 1	1・2	1	「人文科学の課題：先端研究の成果を知る d」の読み替え科目
LX109	人文科学の課題：先端研究の成果を知る d 2	1・2	1	
LX119	現代倫理学	1・2・3・4	2	
LX120	応用倫理学の基礎	1・2	2	
LX121	科学技術倫理学	1・2・3・4	2	
LX122	情報倫理学	1・2・3・4	2	
LX123	生命倫理学	1・2・3・4	2	
LX124	環境倫理学	1・2・3・4	2	
LX126	ジェンダー倫理学	1・2・3・4	2	
LX110	美学基礎 a	1・2	2	
LX110	美学基礎 b	1・2	2	
LX112	精神医学 a	1・2	2	
LX112	精神医学 b	1・2	2	
LX194	言語コミュニケーション論 a	1・2	2	
LX194	言語コミュニケーション論 b	1・2	2	
LX280	日本文学基礎講読 a	1・2	2	
LX280	日本文学基礎講読 b	1・2	2	
LX186	日本文学史 a	1・2・3・4	2	
LX186	日本文学史 b	1・2・3・4	2	
LX188	日本文学史 c	1・2・3・4	2	
LX188	日本文学史 d	1・2・3・4	2	
LX128	障害者のリアルに迫る	1・2・3・4	1	
LX129	環境社会学入門 a	1・2	1	
LX129	環境社会学入門 b	1・2	1	
LX133	社会学原論 a	1・2	1	
LX133	社会学原論 b	1・2	1	
LX224	デジタル・ヒューマニティーズの基礎 a 1	2・3・4	1	
LX224	デジタル・ヒューマニティーズの基礎 a 2	2・3・4	1	
LX224	デジタル・ヒューマニティーズの基礎 b 1	2・3・4	1	
LX224	デジタル・ヒューマニティーズの基礎 b 2	2・3・4	1	
LX225	人文学地域フィールドワーク a	1・2・3・4	1	
LX225	人文学地域フィールドワーク b	1・2・3・4	1	

2. 專門科目

① 行動科学コース

ナンバ リング	区分	人文学科設置授業科目名	履修年次	単位数	備 考
LB301	講 <				

ナンバリング	区分	人文学科設置授業科目名	履修年次	単位数	備 考
LB220	講 義 科 目	認知行動基礎論 a	2・3・4	2	
LB220		認知行動基礎論 b	2・3・4	2	
LB229		データ解析基礎論 a 1	2・3・4	1	「データ解析基礎論 a」の読み替え科目
LB229		データ解析基礎論 a 2	2・3・4	1	
LB229		データ解析基礎論 b 1	2・3・4	1	「データ解析基礎論 b」の読み替え科目
LB229		データ解析基礎論 b 2	2・3・4	1	
LB222		比較認知論 a	2・3・4	2	
LB222		比較認知論 b	2・3・4	2	
LB223		言語情報処理論 a	2・3・4	2	
LB223		言語情報処理論 b	2・3・4	2	
LB224		知的情報処理論 a	2・3・4	2	
LB224		知的情報処理論 b	2・3・4	2	
LB224		知的情報処理論 c	2・3・4	2	
LB226		意志決定論	2・3・4	2	「意志決定論 a, b」の読み替え科目
LB227		心理言語学	2・3・4	2	「心理言語学 a, b」の読み替え科目
LB228		動物心理学	2・3・4	2	「動物心理学 a, b」の読み替え科目
LB342		心理学研究法 a	3・4	2	
LB343		心理学研究法 b	3・4	2	
LB244		知覚心理学 a	2・3・4	2	
LB245		知覚心理学 b	2・3・4	2	
LB246		認知心理学 a	2・3・4	2	
LB247		認知心理学 b	2・3・4	2	
LB250		人格心理学 a	2・3・4	2	
LB251		人格心理学 b	2・3・4	2	
LB252		社会心理学 a	2・3・4	2	
LB253		社会心理学 b	2・3・4	2	
LB256		臨床心理学	2・3・4	2	
LB248		高次認知論 a	2・3・4	2	
LB249		高次認知論 b	2・3・4	2	
LB258		心理学特論Ⅰ	2・3・4	2	「発達心理学」「視覚認知論」「対人行動論」の読み替え科目
LB258		心理学特論Ⅱ	2・3・4	2	
教育学部 開講科目		児童発達心理学	3・4	2	
		学習の心理学	3・4	2	
国際教養学部 開講科目		医療と文化	3・4	1	
		移動とアイデンティティ論	3・4	1	
LB261		理論社会学 a	2・3・4	2	
LB261		理論社会学 b	2・3・4	2	
LB263		家族社会学 a	2・3・4	2	
LB263		家族社会学 b	2・3・4	2	
LB266		産業社会学 a	2・3・4	2	
LB266		産業社会学 b	2・3・4	2	
LB267		地域社会学 a	2・3・4	2	
LB267		地域社会学 b	2・3・4	2	
LB271		メディア社会学 a	2・3・4	2	
LB271		メディア社会学 b	2・3・4	2	
LB264		ジェンダーの社会学 a	2・3・4	2	
LB264		ジェンダーの社会学 b	2・3・4	2	
LB272		社会問題の社会学 a	2・3・4	2	
LB272		社会問題の社会学 b	2・3・4	2	
LB277		生活史の社会学 a	2・3・4	2	

ナンバ リング	区分	人文学科設置授業科目名	履修年次	単位数	備 考
LB277	講 <				

ナンバリング	区分	人文学科設置授業科目名	履修年次	単位数	備 考
LB314	演 習	近世近代哲学演習 d	2・3・4	2	
LB315		現代哲学演習 a	2・3・4	2	
LB315		現代哲学演習 b	2・3・4	2	
LB315		現代哲学演習 c	2・3・4	2	
LB315		現代哲学演習 d	2・3・4	2	
LB316		倫理学演習 a	2・3・4	2	
LB316		倫理学演習 b	2・3・4	2	
LB316		倫理学演習 c	2・3・4	2	
LB316		倫理学演習 d	2・3・4	2	
LB317		科学基礎論演習 a	2・3・4	2	
LB317		科学基礎論演習 b	2・3・4	2	
LB317		科学基礎論演習 c	2・3・4	2	
LB317		科学基礎論演習 d	2・3・4	2	
LB318		科学史演習 a	2・3・4	2	
LB318		科学史演習 b	2・3・4	2	
LB318		科学史演習 c	2・3・4	2	
LB318		科学史演習 d	2・3・4	2	
LB319		東洋哲学演習 a	2・3・4	2	
LB319		東洋哲学演習 b	2・3・4	2	
LB319		東洋哲学演習 c	2・3・4	2	
LB319		東洋哲学演習 d	2・3・4	2	
LB239		認知情報科学基礎演習Ⅱ a	2	1	
LB239		認知情報科学基礎演習Ⅱ b	2	1	
LB320		比較認知行動論演習 a	3・4	2	
LB320		比較認知行動論演習 b	3・4	2	
LB322	実 習	多様性認知論演習 a	3・4	2	
LB322		多様性認知論演習 b	3・4	2	
LB323		言語認知情報学演習 a	3・4	2	
LB323		言語認知情報学演習 b	3・4	2	
LB325		認知情報解析学演習 a 1	3・4	1	「認知情報解析学演習 a」の読み替え科目
LB325		認知情報解析学演習 a 2	3・4	1	
LB325		認知情報解析学演習 b 1	3・4	1	「認知情報解析学演習 b」の読み替え科目
LB325		認知情報解析学演習 b 2	3・4	1	
LB324		知識情報科学演習 a	3・4	2	
LB324		知識情報科学演習 b	3・4	2	
LB326	目	認知情報科学発展演習	3	2	
LB238		認知情報科学基礎実習 a	2	2	
LB238		認知情報科学基礎実習 b	2	2	
LB338		認知情報科学発展実習 a	3	2	
LB338		認知情報科学発展実習 b	3	2	
LB438		認知情報科学特別実習 a	4	2	
LB438		認知情報科学特別実習 b	4	2	
LB240		心理学初級実験 a	2・3・4	2	
LB241		心理学初級実験 b	2・3・4	2	
LB340		心理学中級実験 a	3・4	2	
LB341		心理学中級実験 b	3・4	2	
LB440		心理学上級実験 a	4	2	
LB441		心理学上級実験 b	4	2	
LB242		心理学基礎演習 a	2・3・4	2	
LB344		知覚心理学演習 a	3・4	2	

ナンバリング	区分	人文学科設置授業科目名	履修年次	単位数	備 考
LB444	演 習 ・ 実 習 科 目	知覚心理学演習 b	3・4	2	
LB345		知覚心理学演習 c	3・4	2	
LB445		知覚心理学演習 d	3・4	2	
LB346		認知心理学演習 a	3・4	2	
LB446		認知心理学演習 b	3・4	2	
LB347		認知心理学演習 c	3・4	2	
LB447		認知心理学演習 d	3・4	2	
LB350		人格・発達心理学演習 a	3・4	2	
LB450		人格・発達心理学演習 b	3・4	2	
LB351		人格・発達心理学演習 c	3・4	2	
LB451		人格・発達心理学演習 d	3・4	2	
LB352		社会心理学演習 a	3・4	2	
LB452		社会心理学演習 b	3・4	2	
LB353		社会心理学演習 c	3・4	2	
LB453		社会心理学演習 d	3・4	2	
LB348		高次認知論演習 a	3・4	2	
LB448		高次認知論演習 b	3・4	2	
LB349		高次認知論演習 c	3・4	2	
LB449		高次認知論演習 d	3・4	2	
LB276		社会調査概説 a	2・3・4	2	
LB276		社会調査概説 b	2・3・4	2	
LB376		社会調査実習 a	3・4	1	
LB376		社会調査実習 b	3・4	1	
LB376		社会調査実習 c	3・4	1	
LB376		社会調査実習 d	3・4	1	
LB279		社会学研究法 a	2・3・4	2	
LB279		社会学研究法 b	2・3・4	2	
LB379		社会学演習 a	3・4	2	
LB379		社会学演習 b	3・4	2	
LB378		社会学原書講読 a	3・4	2	
LB378		社会学原書講読 b	3・4	2	
LB377		社会学データ分析演習 a	3・4	2	
LB293	目	文化人類学調査概説 a	2	2	
LB293		文化人類学調査概説 b	2	2	
LB383		文化人類学調査実習 a	3	1	
LB383		文化人類学調査実習 b	3	1	
LB383		文化人類学調査実習 c	3	1	
LB383		文化人類学調査実習 d	3	1	
LB294		文化人類学研究法 a	2	2	
LB294		文化人類学研究法 b	2	2	
LB384		文化人類学演習 a	3	2	
LB384		文化人類学演習 b	3	2	
LB295		生物人類学演習 a	2・3・4	2	
LB295		生物人類学演習 b	2・3・4	2	
LB386		文化人類学原書講読 a	2・3・4	2	
LB386		文化人類学原書講読 b	2・3・4	2	
LB296		人文科学専門英語（哲学）	2・3・4	2	
LB296		人文科学専門英語（認知情報科学）	2・3・4	2	
LB296		人文科学専門英語（心理学）	2・3・4	2	

ナンバ リング	区分	人文学科設置授業科目名	履修年次	単位数	備 考
LX460	実演 科目	卒業論文特別演習 a (必修)	4	2	
LX460		卒業論文特別演習 b (必修)	4	2	
LX480		卒業論文 (必修)	4	8	

② 歴史学コース

ナンバリング	区分	人文学科設置授業科目名	履修年次	単位数	備 考
LH201	講 義 科 目	史学方法論 a (必修)	2	2	
LH201		史学方法論 b (必修)	2	2	
LH202		文書館学 a	2・3・4	2	
LH202		文書館学 b	2・3・4	2	
LH210		現代史 a	2・3・4	2	
LH210		現代史 b	2・3・4	2	
LH211		古代中世社会論 a	2・3・4	2	
LH211		古代中世社会論 b	2・3・4	2	
LH212		社会文化史 a	2・3・4	2	
LH212		社会文化史 b	2・3・4	2	
LH214		歴史社会学 a	2・3・4	2	
LH214		歴史社会学 b	2・3・4	2	
LH215		国際社会史 a	2・3・4	2	
LH215		国際社会史 b	2・3・4	2	
LH216		比較社会史 a	2・3・4	2	
LH216		比較社会史 b	2・3・4	2	
LH217		宗教文化史 a	2・3・4	2	
LH217		宗教文化史 b	2・3・4	2	
LH217		宗教文化史 c	2・3・4	2	
LH218		歴史資料論 a	2・3・4	2	
LH218		歴史資料論 b	2・3・4	2	
LH220		考古学 a	2・3・4	2	
LH220		考古学 b	2・3・4	2	
LH221		地域考古学	2・3・4	2	
LH222		比較考古学	2・3・4	2	
LH223		先史考古学	2・3・4	2	
LH224		歴史考古学	2・3・4	2	
LH230		美術史 a	2・3・4	2	
LH230		美術史 b	2・3・4	2	
LH231		日本美術史	2・3・4	2	
LH232		ヨーロッパ美術史	2・3・4	2	
LH233		図像解釈学	2・3・4	2	
LH234		表象文化史	2・3・4	2	
LH250		日本史 a	2・3・4	2	
LH250		日本史 b	2・3・4	2	
LH250		日本史 c	2・3・4	2	
LH250		日本史 d	2・3・4	2	
LH250		日本史 e	2・3・4	2	
LH260		東アジア地域史 a	2・3・4	2	
LH260		東アジア地域史 b	2・3・4	2	
LH261		東アジア近代史 a	2・3・4	2	
LH261		東アジア近代史 b	2・3・4	2	
LH260		東南アジア地域史 a	2・3・4	2	
LH260		東南アジア地域史 b	2・3・4	2	
LH260		東南アジア近世史論	2・3・4	2	
LH270		イスラーム地域史 a	2・3・4	2	
LH270		イスラーム地域史 b	2・3・4	2	
LH271		中東・アフリカ地域史 a	2・3・4	2	
LH271		中東・アフリカ地域史 b	2・3・4	2	

ナンバリング	区分	人文学科設置授業科目名	履修年次	単位数	備 考
LH272	講 義 科 目	アジア・アフリカ植民地史論 a	2・3・4	2	
LH272		アジア・アフリカ植民地史論 b	2・3・4	2	
LH280		ヨーロッパ地域史 a	2・3・4	2	
LH280		ヨーロッパ地域史 b	2・3・4	2	
LH281		ヨーロッパ古代社会論 a	2・3・4	2	
LH281		ヨーロッパ古代社会論 b	2・3・4	2	
LH282		ヨーロッパ近現代社会論 a	2・3・4	2	
LH282		ヨーロッパ近現代社会論 b	2・3・4	2	
LH283		環大西洋移動交流史 a	2・3・4	2	
LH284		環大西洋移動交流史 b	2・3・4	2	
LH285		北アメリカ地域史	2・3・4	2	
LH286		人文科学専門英語（歴史学）(1)	2・3・4	2	
LH286		人文科学専門英語（歴史学）(2)	2・3・4	2	
LB263		家族社会学 a	2・3・4	2	
LB263		家族社会学 b	2・3・4	2	
LN202		日本思想論 a	2・3・4	2	
LN202		日本思想論 b	2・3・4	2	
教育学部 開講科目	目	日本史特講Ⅰ	2・3・4	2	
		日本史特講Ⅱ	2・3・4	2	
		日本史概論	2・3・4	2	
		外国史特講Ⅰ	2・3・4	2	
		外国史特講Ⅱ	2・3・4	2	
		派遣留学認定科目 1	2・3・4	2	
		派遣留学認定科目 2	2・3・4	2	
		派遣留学認定科目 3	2・3・4	2	
		派遣留学認定科目 4	2・3・4	2	
LH200	演 習 ・ 実 習 科 目	歴史学基礎演習 a（必修）	2	2	
LH200		歴史学基礎演習 b（必修）	2	2	
LH301		歴史学研究演習（必修）	3	2	
LH303		博物館学実習 a	3・4	1	
LH303		博物館学実習 b	3・4	1	
LH303		博物館学実習 c	3・4	1	
LH310		現代史演習 a	2・3・4	2	
LH310		現代史演習 b	2・3・4	2	
LH310		現代史演習 c	2・3・4	2	
LH310		現代史演習 d	2・3・4	2	
LH311		社会文化史演習 a	2・3・4	2	
LH311		社会文化史演習 b	2・3・4	2	
LH313		比較ジェンダー史演習 a	2・3・4	2	
LH313		比較ジェンダー史演習 b	2・3・4	2	
LH314		比較社会史演習 a	2・3・4	2	
LH314		比較社会史演習 b	2・3・4	2	
LH314		比較社会史演習 c	2・3・4	2	
LH314		比較社会史演習 d	2・3・4	2	
LH320		文化財学実習 a	2・3・4	1	
LH320		文化財学実習 b	2・3・4	1	
LH320		文化財学実習 c	2・3・4	1	
LH320		文化財学実習 d	2・3・4	1	
LH321		考古学実習 a	2・3・4	1	
LH321		考古学実習 b	2・3・4	1	
LH321		考古学実習 c	2・3・4	1	

ナンバリング	区分	人文学科設置授業科目名	履修年次	単位数	備 考
LH321	演習	考古学実習 d	2・3・4	1	
LH322		考古学演習 a	2・3・4	2	
LH322		考古学演習 b	2・3・4	2	
LH322		考古学演習 c	2・3・4	2	
LH322		考古学演習 d	2・3・4	2	
LH323		先史考古学演習 a	2・3・4	2	
LH323		先史考古学演習 b	2・3・4	2	
LH323		先史考古学演習 c	2・3・4	2	
LH323		先史考古学演習 d	2・3・4	2	
LH330		日本美術史演習 a	2・3・4	2	
LH330		日本美術史演習 b	2・3・4	2	
LH330		日本美術史演習 c	2・3・4	2	
LH330		日本美術史演習 d	2・3・4	2	
LH331		ヨーロッパ美術史演習 a	2・3・4	2	
LH331		ヨーロッパ美術史演習 b	2・3・4	2	
LH331		ヨーロッパ美術史演習 c	2・3・4	2	
LH331		ヨーロッパ美術史演習 d	2・3・4	2	
LH332		図像解釈学演習 a	2・3・4	2	
LH332		図像解釈学演習 b	2・3・4	2	
LH332		図像解釈学演習 c	2・3・4	2	
LH332		図像解釈学演習 d	2・3・4	2	
LH350		古文書実習 a	2・3・4	1	
LH350		古文書実習 b	2・3・4	1	
LH350		古文書実習 c	2・3・4	1	
LH350		古文書実習 d	2・3・4	1	
LH351		記録史料演習 a	2・3・4	2	
LH351		記録史料演習 b	2・3・4	2	
LH351		記録史料演習 c	2・3・4	2	
LH351		記録史料演習 d	2・3・4	2	
LH352		近代記録史料演習 a	2・3・4	2	
LH352		近代記録史料演習 b	2・3・4	2	
LH352		近代記録史料演習 c	2・3・4	2	
LH352		近代記録史料演習 d	2・3・4	2	
LH360	科目	東アジア史史料演習 a	2・3・4	2	
LH360		東アジア史史料演習 b	2・3・4	2	
LH360		東アジア史史料演習 c	2・3・4	2	
LH360		東アジア史史料演習 d	2・3・4	2	
LH361		朝鮮語史料演習 a	2・3・4	2	
LH361		朝鮮語史料演習 b	2・3・4	2	
LH362		東南アジア社会論演習 a	2・3・4	2	
LH362		東南アジア社会論演習 b	2・3・4	2	
LH362		東南アジア社会論演習 c	2・3・4	2	
LH362		東南アジア社会論演習 d	2・3・4	2	
LH370		イスラーム地域史演習 a	2・3・4	2	
LH370		イスラーム地域史演習 b	2・3・4	2	
LH370		イスラーム地域史演習 c	2・3・4	2	
LH371		中東史史料演習 a	2・3・4	2	
LH371		中東史史料演習 b	2・3・4	2	
LH371		中東史史料演習 c	2・3・4	2	
LH371		中東史史料演習 d	2・3・4	2	

ナンバ リング	区分	人文学科設置授業科目名	履修年次	単位数	備 考
LH380	演 習 ・ 実 習 科 目	環大西洋移動交流演習 a	2・3・4	2	
LH380		環大西洋移動交流演習 b	2・3・4	2	
LH380		環大西洋移動交流演習 c	2・3・4	2	
LH380		環大西洋移動交流演習 d	2・3・4	2	
LH381		マイノリティー史演習 a	2・3・4	2	
LH381		マイノリティー史演習 b	2・3・4	2	
LH381		マイノリティー史演習 c	2・3・4	2	
LH381		マイノリティー史演習 d	2・3・4	2	
LH382		宗教文化史演習 a	2・3・4	2	
LH382		宗教文化史演習 b	2・3・4	2	
教育学部 開講科目		日本史史料調査実習Ⅰ	2・3・4	2	
		日本史史料調査実習Ⅱ	2・3・4	2	
		日本史史料調査実習Ⅲ	2・3・4	2	
LX460		卒業論文特別演習 a（必修）	4	2	
LX460		卒業論文特別演習 b（必修）	4	2	
LX480			卒業論文（必修）	4	8

③ 日本・ユーラシア文化コース

ナンバリング	区分	人文学科設置授業科目名	履修年次	単位数	備 考
LN203	講義科目	伝承文学論 a	2・3・4	2	
LN203		伝承文学論 b	2・3・4	2	
LN204		芸能文化論 a	2・3・4	2	
LN204		芸能文化論 b	2・3・4	2	
LN205		民俗文化論 a	2・3・4	2	
LN205		民俗文化論 b	2・3・4	2	
LN202		日本思想論 a	2・3・4	2	
LN202		日本思想論 b	2・3・4	2	
LN206		古代文化論 a	2・3・4	2	
LN206		古代文化論 b	2・3・4	2	
LN207		中世文化論 a	2・3・4	2	
LN207		中世文化論 b	2・3・4	2	
LN208		近世文化論 a	2・3・4	2	
LN208		近世文化論 b	2・3・4	2	
LN209		古代文学論 a	2・3・4	2	
LN209		古代文学論 b	2・3・4	2	
LN209		古代文学論 c	2・3・4	2	
LN209		古代文学論 d	2・3・4	2	
LN210		中世文学論 a	2・3・4	2	
LN210		中世文学論 b	2・3・4	2	
LN210		中世文学論 c	2・3・4	2	
LN210		中世文学論 d	2・3・4	2	
LN211		近世文学論 a	2・3・4	2	
LN211		近世文学論 b	2・3・4	2	
LN211		近世文学論 c	2・3・4	2	
LN211		近世文学論 d	2・3・4	2	
LN212		近代文学論 a	2・3・4	2	
LN212		近代文学論 b	2・3・4	2	
LN212		近代文学論 c	2・3・4	2	
LN212		近代文学論 d	2・3・4	2	
LN213		現代文学論 a	2・3・4	2	
LN213		現代文学論 b	2・3・4	2	
LN214		日本語史 a	2・3・4	2	
LN214		日本語史 b	2・3・4	2	
LN215		日本文法論 a	2・3・4	2	
LN215		日本文法論 b	2・3・4	2	
LN215		日本文法論 c	2・3・4	2	
LN215		日本文法論 d	2・3・4	2	
LN216		古代日本語論 a	2・3・4	2	
LN216		古代日本語論 b	2・3・4	2	
LN217		近代日本語論 a	2・3・4	2	
LN217		近代日本語論 b	2・3・4	2	
LN218		現代日本語論 a	2・3・4	2	
LN218		現代日本語論 b	2・3・4	2	
LN218		現代日本語論 c	2・3・4	2	
LN218		現代日本語論 d	2・3・4	2	
国際教養学部 開講科目		多元日本社会論	2・3・4	1	
		文化と言語	2・3・4	1	
LN230		音声学	2・3・4	2	「音声学 a, b」の読み替え科目

ナンバリング	区分	人文学科設置授業科目名	履修年次	単位数	備 考
LN220	講 義 科 目	言語体系論 a	2・3・4	2	
LN220		言語体系論 b	2・3・4	2	
LN221		言語機能論 a	2・3・4	2	
LN221		言語機能論 b	2・3・4	2	
LN231		ユーラシア言語論	2・3・4	2	
LN223		アイヌ文化論 a	2・3・4	2	
LN223		アイヌ文化論 b	2・3・4	2	
LN232		東北アジア文化論 a	2・3・4	2	
LN232		東北アジア文化論 b	2・3・4	2	
LN225		内陸アジア文化論 a	2・3・4	2	
LN225		内陸アジア文化論 b	2・3・4	2	
LN225		内陸アジア文化論 c	2・3・4	2	
LN225		内陸アジア文化論 d	2・3・4	2	
LN226		ユーラシア文化論 a	2・3・4	2	
LN226		ユーラシア文化論 b	2・3・4	2	
LN226		ユーラシア文化論 c	2・3・4	2	
LN226		ユーラシア文化論 d	2・3・4	2	
LN227		ユーラシア言語類型論 a	2・3・4	2	
LN227		ユーラシア言語類型論 b	2・3・4	2	
LN228		ユーラシア口承文芸論 a	2・3・4	2	
LN228		ユーラシア口承文芸論 b	2・3・4	2	
LB312		東洋哲学講読 a	2・3・4	2	
LB312		東洋哲学講読 b	2・3・4	2	
LB312		東洋哲学講読 c	2・3・4	2	
LB312		東洋哲学講読 d	2・3・4	2	
LB287		生態人類学 a	2・3・4	2	
LB287		生態人類学 b	2・3・4	2	
LH231		日本美術史	2・3・4	2	
LH260		東アジア地域史 a	2・3・4	2	
LH260		東アジア地域史 b	2・3・4	2	
		派遣留学認定科目 1	2・3・4	2	
		派遣留学認定科目 2	2・3・4	2	
		派遣留学認定科目 3	2・3・4	2	
		派遣留学認定科目 4	2・3・4	2	
LN300	演 習 ・ 実 習 科 目	伝承文学論演習 a	2・3・4	2	
LN300		伝承文学論演習 b	2・3・4	2	
LN301		中世文化論演習 a	2・3・4	2	
LN301		中世文化論演習 b	2・3・4	2	
LN302		近世文化論演習 a	2・3・4	2	
LN302		近世文化論演習 b	2・3・4	2	
LN303		古代文学論演習 a	2・3・4	2	
LN303		古代文学論演習 b	2・3・4	2	
LN303		古代文学論演習 c	2・3・4	2	
LN303		古代文学論演習 d	2・3・4	2	
LN304		中世文学論演習 a	2・3・4	2	
LN304		中世文学論演習 b	2・3・4	2	
LN304		中世文学論演習 c	2・3・4	2	
LN304		中世文学論演習 d	2・3・4	2	
LN305		近世文学論演習 a	2・3・4	2	
LN305		近世文学論演習 b	2・3・4	2	

ナンバ リング	区分	人文学科設置授業科目名	履修年次	単位数	備 考
LN305	演 習 ・ 実 習 科 目	近世文学論演習 c	2・3・4	2	
LN305		近世文学論演習 d	2・3・4	2	
LN306		近代文学論演習 a	2・3・4	2	
LN306		近代文学論演習 b	2・3・4	2	
LN306		近代文学論演習 c	2・3・4	2	
LN306		近代文学論演習 d	2・3・4	2	
LN307		現代文学論演習 a	2・3・4	2	
LN307		現代文学論演習 b	2・3・4	2	
LN309		古代日本語演習 a	2・3・4	2	
LN309		古代日本語演習 b	2・3・4	2	
LN310		近代日本語演習 a	2・3・4	2	
LN310		近代日本語演習 b	2・3・4	2	
LN311		現代日本語演習 a	2・3・4	2	
LN311		現代日本語演習 b	2・3・4	2	
LN311		現代日本語演習 c	2・3・4	2	
LN311		現代日本語演習 d	2・3・4	2	
LN312		日本地域言語学音韻論演習 a	2・3・4	2	
LN312		日本地域言語学音韻論演習 b	2・3・4	2	
LN313		日本地域言語学形態論演習 a	2・3・4	2	
LN313		日本地域言語学形態論演習 b	2・3・4	2	
LN314		日本文法演習 a	2・3・4	2	
LN314		日本文法演習 b	2・3・4	2	
LN314		日本文法演習 c	2・3・4	2	
LN314		日本文法演習 d	2・3・4	2	
LN229		言語学基盤演習 a	2・3	2	
LN229		言語学基盤演習 b	2・3	2	
LN229		言語学基盤演習 c	2・3	2	
LN229		言語学基盤演習 d	2・3	2	
LN315		言語体系論演習 a	2・3・4	2	
LN315		言語体系論演習 b	2・3・4	2	
LN315		言語体系論演習 c	2・3・4	2	
LN315		言語体系論演習 d	2・3・4	2	
LN316		言語機能論演習 a	2・3・4	2	
LN316		言語機能論演習 b	2・3・4	2	
LN316		言語機能論演習 c	2・3・4	2	
LN316		言語機能論演習 d	2・3・4	2	
LN317		アイヌ語学演習 a	2・3・4	2	
LN317		アイヌ語学演習 b	2・3・4	2	
LN317		アイヌ語学演習 c	2・3・4	2	
LN317		アイヌ語学演習 d	2・3・4	2	
LN318		アイヌ文化論演習 a	2・3・4	2	
LN318		アイヌ文化論演習 b	2・3・4	2	
LN318		アイヌ文化論演習 c	2・3・4	2	
LN318		アイヌ文化論演習 d	2・3・4	2	
LN327		東北アジア文化論演習 a	2・3・4	2	
LN327		東北アジア文化論演習 b	2・3・4	2	
LN320		フィールド調査法演習 a	2・3・4	2	
LN320		フィールド調査法演習 b	2・3・4	2	

ナンバ リング	区分	人文学科設置授業科目名	履修年次	単位数	備 考
LN320	演 習 ・ 実 習 科 目	フィールド調査法演習 c	2・3・4	2	
LN320		フィールド調査法演習 d	2・3・4	2	
LN321		内陸アジア文化論演習 a	2・3・4	2	
LN321		内陸アジア文化論演習 b	2・3・4	2	
LN321		内陸アジア文化論演習 c	2・3・4	2	
LN321		内陸アジア文化論演習 d	2・3・4	2	
LN323		ユーラシア言語類型論演習 a	2・3・4	2	
LN323		ユーラシア言語類型論演習 b	2・3・4	2	
LN324		ユーラシア言語接触論演習 a	2・3・4	2	
LN324		ユーラシア言語接触論演習 b	2・3・4	2	
LN325		ユーラシア民族文化論演習 a	2・3・4	2	
LN325		ユーラシア民族文化論演習 b	2・3・4	2	
LN325		ユーラシア民族文化論演習 c	2・3・4	2	
LN325		ユーラシア民族文化論演習 d	2・3・4	2	
LN326		ユーラシア文化論演習 a	2・3・4	2	
LN326		ユーラシア文化論演習 b	2・3・4	2	
LN326		ユーラシア文化論演習 c	2・3・4	2	
LN326		ユーラシア文化論演習 d	2・3・4	2	
LN328		人文科学専門英語（日本語文化論）	2・3・4	2	
LN328		人文科学専門英語（ユーラシア言語文化論）	2・3・4	2	
LN400		日本・ユーラシア文化論研究演習（必修）	3	2	
LX460		卒業論文特別演習 a（必修）	4	2	
LX460		卒業論文特別演習 b（必修）	4	2	
LX480		卒業論文（必修）	4	8	

④ 国際言語文化学コース

ナンバ リング	区分	人文学科設置授業科目名	履修年次	単位数	備 考
LI229	講 義 科 目	多言語多文化接触論 a	2・3・4	2	
LI229		多言語多文化接触論 b	2・3・4	2	
LI217		演劇論 a	2・3・4	2	
LI217		演劇論 b	2・3・4	2	
LI123		英語音声学 a	2・3・4	2	
LI123		英語音声学 b	2・3・4	2	
LI221		英文法 a	2・3・4	2	
LI221		英文法 b	2・3・4	2	
LI222		英語史 a	2・3・4	2	
LI222		英語史 b	2・3・4	2	
LI223		ドイツ語学概説 a	2・3・4	2	
LI223		ドイツ語学概説 b	2・3・4	2	
LI224		ドイツ語史 a	2・3・4	2	
LI224		ドイツ語史 b	2・3・4	2	
LI225		ロシア語学概説 a	2・3・4	2	
LI225		ロシア語学概説 b	2・3・4	2	
LI226		スペイン語学概説 a	2・3・4	2	
LI226		スペイン語学概説 b	2・3・4	2	
LI228		スペイン語文法 a	2・3・4	2	
LI228		スペイン語文法 b	2・3・4	2	
LI227		イギリス文学概説 a	2・3・4	2	
LI227		イギリス文学概説 b	2・3・4	2	
LI237		英語圏文学論 a	2・3・4	2	
LI237		英語圏文学論 b	2・3・4	2	
LI230		イギリス文学史 a	2・3・4	2	
LI230		イギリス文学史 b	2・3・4	2	
LI231		アメリカ現代文化論 a	1・2・3・4	2	
LI231		アメリカ現代文化論 b	1・2・3・4	2	
LI234		アメリカ文学史 a	2・3・4	2	
LI234		アメリカ文学史 b	2・3・4	2	
LI254		現代ドイツ事情 a	2・3・4	2	
LI254		現代ドイツ事情 b	2・3・4	2	
LI235		ドイツ文学史 a	2・3・4	2	
LI235		ドイツ文学史 b	2・3・4	2	
LH212		社会文化史 a	2・3・4	2	
LH212		社会文化史 b	2・3・4	2	
LH215	国際社会史 a	2・3・4	2		
LH215	国際社会史 b	2・3・4	2		
LH217	宗教文化史 a	2・3・4	2		
LH217	宗教文化史 b	2・3・4	2		
LH217	宗教文化史 c	2・3・4	2		
LH233	図像解釈学	2・3・4	2		
LH232	ヨーロッパ美術史	2・3・4	2		
LH280	ヨーロッパ地域史 a	2・3・4	2		
LH280	ヨーロッパ地域史 b	2・3・4	2		
LN220	言語体系論 a	2・3・4	2		
LN220	言語体系論 b	2・3・4	2		
		派遣留学認定科目 1	2・3・4	2	
		派遣留学認定科目 2	2・3・4	2	
		派遣留学認定科目 3	2・3・4	2	
		派遣留学認定科目 4	2・3・4	2	

ナンバ リング	区分	人文学科設置授業科目名	履修年次	単位数	備 考
LI204	演 習 ・ 実 習 科 目	英会話応用 a	2・3・4	2	
LI204		英会話応用 b	2・3・4	2	
LI210		英作文応用 a	2・3・4	2	
LI210		英作文応用 b	2・3・4	2	
LI103		ドイツ語会話 a	2・3・4	2	
LI103		ドイツ語会話 b	2・3・4	2	
LI212		ドイツ語会話 c	2・3・4	2	
LI212		ドイツ語会話 d	2・3・4	2	
LI205		フランス語会話 a	2・3・4	2	
LI205		フランス語会話 b	2・3・4	2	
LI205		フランス語会話 c	2・3・4	2	
LI205		フランス語会話 d	2・3・4	2	
LI203		中級スペイン語 a	2・3・4	2	
LI203		中級スペイン語 b	2・3・4	2	
LI109		スペイン語会話 a	1・2・3・4	2	
LI109		スペイン語会話 b	1・2・3・4	2	
LI206		中級スペイン語会話 a	2・3・4	2	
LI206		中級スペイン語会話 b	2・3・4	2	
LI206		中級スペイン語会話 c	2・3・4	2	
LI206		中級スペイン語会話 d	2・3・4	2	
LI207		ロシア語会話 a	2・3・4	2	
LI207		ロシア語会話 b	2・3・4	2	
LI207		ロシア語会話 c	2・3・4	2	
LI207		ロシア語会話 d	2・3・4	2	
LI104		ドイツ語作文 a	2・3・4	2	
LI104		ドイツ語作文 b	2・3・4	2	
LI213		ドイツ語作文 c	2・3・4	2	
LI213		ドイツ語作文 d	2・3・4	2	
LI208		フランス語作文 a	2・3・4	2	
LI208		フランス語作文 b	2・3・4	2	
LI208		フランス語作文 c	2・3・4	2	
LI208		フランス語作文 d	2・3・4	2	
LI253		ドイツ語演習 a	2・3・4	2	
LI253		ドイツ語演習 b	2・3・4	2	
LI253		ドイツ語演習 c	2・3・4	2	
LI253		ドイツ語演習 d	2・3・4	2	
LI302		フランス語演習 a	2・3・4	2	
LI302		フランス語演習 b	2・3・4	2	
LI302		フランス語演習 c	2・3・4	2	
LI302		フランス語演習 d	2・3・4	2	
LI209		ロシア語演習 a	2・3・4	2	
LI209		ロシア語演習 b	2・3・4	2	
LI209		ロシア語演習 c	2・3・4	2	
LI209		ロシア語演習 d	2・3・4	2	
LI252		スペイン語演習 a	2・3・4	2	
LI252		スペイン語演習 b	2・3・4	2	
LI252		スペイン語演習 c	2・3・4	2	
LI252		スペイン語演習 d	2・3・4	2	
LI303		ラテン語演習 a	2・3・4	2	
LI303		ラテン語演習 b	2・3・4	2	
LI303		ラテン語演習 c	2・3・4	2	
LI303		ラテン語演習 d	2・3・4	2	

ナンバ リング	区分	人文学科設置授業科目名	履修年次	単位数	備 考
LI303	演 習 ・ 実 習 科 目	ラテン語演習 e	2・3・4	2	
LI303		ラテン語演習 f	2・3・4	2	
LI239		比較文化論演習 a	2・3・4	2	
LI239		比較文化論演習 b	2・3・4	2	
LI239		比較文化論演習 c	2・3・4	2	
LI239		比較文化論演習 d	2・3・4	2	
LI315		多言語多文化接触論演習 a	2・3・4	2	
LI315		多言語多文化接触論演習 b	2・3・4	2	
LI310		スラヴ文化論演習 a	2・3・4	2	
LI310		スラヴ文化論演習 b	2・3・4	2	
LI325		ロシア文化論演習 a	2・3・4	2	
LI325		ロシア文化論演習 b	2・3・4	2	
LI325		ロシア文化論演習 c	2・3・4	2	
LI325		ロシア文化論演習 d	2・3・4	2	
LI312		生成文法理論演習 a	2・3・4	2	
LI312		生成文法理論演習 b	2・3・4	2	
LI312		生成文法理論演習 c	2・3・4	2	
LI312		生成文法理論演習 d	2・3・4	2	
LI242		英語学演習 a	2・3・4	2	
LI242		英語学演習 b	2・3・4	2	
LI242		英語学演習 c	2・3・4	2	
LI242		英語学演習 d	2・3・4	2	
LI313		ドイツ語学演習 a	2・3・4	2	
LI313		ドイツ語学演習 b	2・3・4	2	
LI313		ドイツ語学演習 c	2・3・4	2	
LI313		ドイツ語学演習 d	2・3・4	2	
LI238		英語圏文学演習 a	2・3・4	2	
LI238		英語圏文学演習 b	2・3・4	2	
LI238		英語圏文学演習 c	2・3・4	2	
LI238		英語圏文学演習 d	2・3・4	2	
LI316		イギリス文学演習 a	2・3・4	2	
LI316		イギリス文学演習 b	2・3・4	2	
LI316		イギリス文学演習 c	2・3・4	2	
LI316		イギリス文学演習 d	2・3・4	2	
LI317		アメリカ文学演習 a	2・3・4	2	
LI317		アメリカ文学演習 b	2・3・4	2	
LI317		アメリカ文学演習 c	2・3・4	2	
LI317		アメリカ文学演習 d	2・3・4	2	
LI318		アメリカ小説論演習 a	2・3・4	2	
LI318		アメリカ小説論演習 b	2・3・4	2	
LI318		アメリカ小説論演習 c	2・3・4	2	
LI318		アメリカ小説論演習 d	2・3・4	2	
LI326		アメリカ文化論演習 a	2・3・4	2	
LI326		アメリカ文化論演習 b	2・3・4	2	
LI326		アメリカ文化論演習 c	2・3・4	2	
LI326		アメリカ文化論演習 d	2・3・4	2	
LI306		芸術メディア論演習 a	2・3・4	2	
LI306		芸術メディア論演習 b	2・3・4	2	
LI306		芸術メディア論演習 c	2・3・4	2	
LI306		芸術メディア論演習 d	2・3・4	2	

ナンバリング	区分	人文学科設置授業科目名	履修年次	単位数	備 考
LI319	演 習 ・ 実 習 科 目	英語論文演習 a	3・4	2	
LI319		英語論文演習 b	3・4	2	
LI320		ドイツ文化論演習 a	2・3・4	2	
LI320		ドイツ文化論演習 b	2・3・4	2	
LI320		ドイツ文化論演習 c	2・3・4	2	
LI320		ドイツ文化論演習 d	2・3・4	2	
LI246		ドイツ文学演習 a	2・3・4	2	
LI246		ドイツ文学演習 b	2・3・4	2	
LI246		ドイツ文学演習 c	2・3・4	2	
LI246		ドイツ文学演習 d	2・3・4	2	
LI321		フランス文学演習 a	2・3・4	2	
LI321		フランス文学演習 b	2・3・4	2	
LI321		フランス文学演習 c	2・3・4	2	
LI321		フランス文学演習 d	2・3・4	2	
LI323		ロシア文学演習 a	2・3・4	2	
LI323		ロシア文学演習 b	2・3・4	2	
LI324		スペイン文学演習 a	2・3・4	2	
LI324		スペイン文学演習 b	2・3・4	2	
LI324		スペイン文学演習 c	2・3・4	2	
LI324		スペイン文学演習 d	2・3・4	2	
LI248	科 目	スペイン文学講読 a	2・3・4	2	
LI248		スペイン文学講読 b	2・3・4	2	
LI327		ドイツ語史演習 a	2・3・4	2	
LI327		ドイツ語史演習 b	2・3・4	2	
LI327		ドイツ語史演習 c	2・3・4	2	
LI327		ドイツ語史演習 d	2・3・4	2	
LI270		人文科学専門英語 (国際言語文化学 a)	2・3・4	2	
LI270		人文科学専門英語 (国際言語文化学 b)	2・3・4	2	
LI301		国際言語文化学研究演習 (必修)	3	2	
LX460		卒業論文特別演習 a (必修)	4	2	
LX460		卒業論文特別演習 b (必修)	4	2	
LX480		卒業論文 (必修)	4	8	

3. 文学部が開講する司書科目

ナンバリング	授業科目名	履修年次	単位数	備 考
LY270	情報サービス論	2・3・4	2	
LY370	情報サービス演習	3・4	2	
LY371	情報検索演習	3・4	2	
LY271	資料・情報組織論	2・3・4	2	
LY372	資料・情報組織演習 a	3・4	2	
LY372	資料・情報組織演習 b	3・4	2	
LY375	図書館インターンシップ	3・4	2	

Ⅸ 各種資格の取得

＜2024（令和6）年度以前の入学生は、入学年度の履修案内を確認してください。＞

1. 教育職員免許状の取得について

① 取得できる教育職員免許状の種類

文学部在学中に中学校及び高等学校の教育職員免許を取得するためには、免許状の種類ごとに定められた科目の単位を修得する必要があります。詳細についてはガイダンスを行います。Moodle「文学部（全学年向け）」＞「就職・資格に関するお知らせ」＞「教職関係」に掲載しますので注意してください。

文学部で取得できる免許状の種類は次のとおりです。

（表1－1）

行動科学コース	中学校教諭一種免許状（社会）
	高等学校教諭一種免許状（公民）
歴史学コース	中学校教諭一種免許状（社会）
	高等学校教諭一種免許状（地理歴史）
日本・ユーラシア文化コース	中学校教諭一種免許状（国語）
	高等学校教諭一種免許状（国語）
国際言語文化学コース	中学校教諭一種免許状（英語）
	高等学校教諭一種免許状（英語）

所属するコースの上表免許状についてのみ、大学からの一括申請（当該年度の教員免許状取得見込者について、大学が取りまとめて教育委員会に申請すること）が可能です。一括申請の場合、卒業時に免許状を受理できます。

なお、所定の学位及び単位を取得していれば、卒業後に個人申請をすることも可能です。

一括申請、個人申請はともに有料です。

② 免許状取得に必要な学位

上表1－1に記された免許状の取得には、「学士」の学位が必要です。「学士」の学位は、文学部の卒業要件を満たすことで授与されます。

③ 免許状取得に必要な単位

(表 1 - 2)

区 分		中学校教諭一種免許状	高等学校教諭一種免許状
教科及び教科 の指導法に関 する科目	教科に関する専門的事項	20単位	20単位
	各教科の指導法（情報通信技術 の活用を含む。）	8 単位	4 単位
教育の基礎的理解に関する科目		10単位	10単位
道徳，総合的な学習の時間等の指導法及び 生徒指導，教育相談等に関する科目		10単位	8 単位
教育実践に関する科目		7 単位	5 単位
大学が独自に設定する科目		4 単位	12単位
その他（教育職員免許法施行規則第66条の 6 に 定める科目）		8 単位	8 単位

1) 「教科及び教科の指導法に関する科目」

a. 「教科に関する専門的事項」

「教科に関する専門的事項」に指定された科目（p.59～参照）から，合計20単位以上を履修してください。科目区分ごとに必修科目があり，他コースや他学部が開講する科目も含まれます。

b. 「各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」

「各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」に指定された科目（p.60～参照）から，中学校教諭一種免許状取得では 8 単位，高等学校教諭一種免許状取得では 4 単位の履修が必要です。

2)「教育の基礎的理解に関する科目」,「道徳, 総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導, 教育相談等に関する科目」,「教育実践に関する科目」

a. 必要な科目と単位数

教育職員免許法施行規則に定められた科目と必要単位数について, 文学部では以下の表のとおり対応する科目を定めています。

(表1-3)

免許法施行規則に定める科目区分			文学部の定める左記に対応する科目と単位数			
科目区分等	免許状の種類		授業科目名	免許状の種類		開講部局
	中一免	高一免		中一免	高一免	
教育の基礎的理解に関する科目	10	10	教育基礎論	1	1	教育学部
			現代教職論	2	2	
			教育制度論	2	2	
			教育心理学	2	2	
			特別支援教育の理論と方法	2	2	
			教育課程論	1	1	
道徳, 総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導, 教育相談等に関する科目	10	8	道徳教育の理論と方法	2	—	
			総合的な学習の時間の指導法	1	1	
			特別活動	1	1	
			教育方法・技術	1	1	
			ICT活用教育の理論と方法	1	1	
			生徒指導・教育相談・進路指導Ⅰ	2	2	
			生徒指導・教育相談・進路指導Ⅱ	2	2	
			生徒指導・教育相談の理論と実際	1	1	
教育実践に関する科目	7	5	事前・事後指導	1	1	文学部
			中学校教育実習	4	—	
			高等学校教育実習	—	2	
			教職実践演習(中・高)	2	2	教育学部
合計	27	23	合計	28	24	

b. 履修全般に関する注意

- ・教育学部が開講している当該科目は「他学部用」と指定されている科目を受講してください。他学部学生用授業一覧は, 教育学部のWebシラバスで確認できます。また, 文学部棟1階掲示板(I. 4-③参照)にも掲示します。
- ・開講時期に注意し, 事前に時間割を確認してください。

c. 教育実習に関する注意

中学校教諭一種免許状取得には「中学校教育実習(4単位)」, 高等学校教諭一種免許状取得には「高等学校教育実習(2単位)」を修得するとともに「事前・事後指導(1単位)」の修得が必要です。

なお, 教育実習は, 協力校に対して大変な労力をかけることによって成立しているので, 教育実習を途中で取りやめることは認めません。

また, 教育実習を行うには, 原則として以下に挙げるすべてを満たしていることが必要です。

- ・3年次終了までに「教職実践演習」を除くすべての教職に関する科目を修得していること

- ・ 普遍教育科目の卒業要件を満たしていること
- ・ 文学部専門教育科目を40単位以上修得しており、普遍教育科目等の修得単位を合わせた合計が90単位以上であること

d. 「教職実践演習」に関する注意

4年次後期に履修することが定められている科目です。それ以前の履修はできません。

なお、「教職実践演習」の履修にあたっては、「履修カルテ」（教職ガイダンスで説明します）により、文学部における指導教員から履修状況の確認を受ける必要があります。

3) 「大学が独自に設定する科目」

「大学が独自に設定する科目」は、可能な限り「教科に関する専門的事項」に指定された科目によって単位を充足してください。中学校教諭一種免許状取得には4単位、高等学校教諭一種免許状取得には12単位の修得が必要です。

＜高等学校教諭一種免許状取得にあたっての注意＞

中学校教諭一種免許状取得に必要な単位数を修得している場合、高等学校教諭一種免許状取得に必要な「大学が独自に設定する科目」として、以下のように単位を充当することができます。

高等学校一種免許状 (地理歴史)(公民)	・ 「道德教育の理論と方法」2単位 ・ 「中学校教育実習(4単位)」を履修した場合の余剰単位2単位分
-------------------------	---

※ 「地理歴史」及び「公民」の免許状を取得しようとする場合には、中学校「社会」の免許状取得のために修得した「各教科の指導法」に該当する単位を「大学が独自に設定する科目」に充当することはできません。

高等学校一種免許状 (国語)(英語)	・ 当該教科の「各教科の指導法」を、4単位を超えて修得した場合の余剰単位 ・ 「道德教育の理論と方法」2単位 ・ 「中学校教育実習(4単位)」を履修した場合の余剰単位2単位分
-----------------------	---

4) その他（教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目）

中学校教諭一種免許状，高等学校教諭一種免許状ともに，上記1)～3)に加えて，普遍教育科目から以下の単位を修得することが必要です。

免許法施行規則に定める科目区分		文学部の定める左記に対応する科目と単位数		
科 目	単位数	授業科目名	単位数	必要単位数
日本国憲法	2	憲法	2	2
体育	2	スポーツ・健康科目	各1	2種目2単位。 同一種目不可。
外国語コミュニケーション	2	Interaction Presentation Discussion Writing CALL Critical Thinking in English English for Specific Fields 海外研修英語 海外研修英語文化	1 1 1 1 2 1 1 4 2	1科目以上2単位 選択必修
数理，データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報リテラシー	2	2

5) 介護等体験

中学校教諭一種免許状の取得には，障害者，高齢者等に対する介護や介助等を体験する「介護等体験」が法律により義務付けられています。文学部では，以下のとおり実施します。詳細については，ガイダンスで説明します。

対象年次：2年次

期 間：7日間（社会福祉施設5日間，特別支援学校2日間）

募集期間：1年次の12月～1月頃

実施施設：文部科学大臣が厚生労働大臣と協議して定める施設

費 用：経費の徴収があります。

そ の 他：次に当たる者は，介護等体験を免除されます。

- ・介護等に関する専門的知識及び技術を有することが認められる者
- ・身体上の障害により介護等体験を行うことが困難な者

6) 教育職員免許状取得に関する主なスケジュール

以下は予定です。行事、日程等については変更となる場合があります。掲示に注意してください。

1 年次	4 月初旬	資格取得ガイダンス
2 年次	4 月初旬	介護等体験ガイダンス，履修カルテガイダンス（「履修カルテ」配付）
	6 月頃～	介護等体験
3 年次	4 月初旬	教育実習ガイダンス
	5 月～	各自，教育実習希望校より内諾を得る
	9 月下旬	教育実習事前指導（教育実習ガイダンス（文学部開催））
	10 月	「教育実習登録票」を学部学務室へ提出
	11 月～	教育実習校へ実習依頼状を発送
4 年次	4 月初旬	教育実習事前指導（教育実習ガイダンス（全学開催・文学部開催））
	5 月～	教育実習
	教育実習後	教育実習事後指導（文学部指導教員による）
	後期	「教職実践演習」の履修
	10～12 月	教育職員免許状一括申請手続き
	3 月	教育職員免許状の交付（学位記交付時）

④ 「教科及び教科の指導法に関する科目」 一覧

行動科学コースにおいて免許状取得希望者が履修すべき科目（専門科目）

中 一 免 「社 会」				高 一 免 「公 民」							
免許法施行規則に定める 専 門 科 目 区 分 等			左記に対応する開設専門科目		免許法施行規則に定める 専 門 科 目 区 分 等		左記に対応する開設専門科目				
科 目		単位数	授業科目名		単位数	科 目		単位数			
教 科 に 関 す る 専 門 的 事 項	日本史・外国史	4～	日 本 史 基 礎 a	1単位必修							
			日 本 史 基 礎 b	1単位必修							
			世 界 史 基 礎 a	1単位必修							
			世 界 史 基 礎 b	1単位必修							
			史 学 方 法 論 a, b	各2							
			文化資料論基礎 a, b, c, d, e	各2							
			文化資料論基礎演習 a, b, c	各2							
			史 科 学 基 礎 演 習 a, b, c, d, e	各2							
			日 本 史 a, b, c, d, e	各2							
			美 術 史 a, b	各2							
			考 古 学 a, b	各2							
			ア ジ ア 史 基 礎 a, b, c	各2							
			ヨーロッパ・アメリカ史基礎 a, b	各2							
			東アジア地域史 a, b	各2							
			イスラーム地域史 a, b	各2							
			中東・アフリカ地域史 a, b	各2							
	ヨーロッパ地域史 a, b	各2									
	東南アジア地域史 a, b	各2									
	地理学 (地誌を含む。)	6～	人 文 地 理 学 a } 人 文 地 理 学 b }	いずれか1 科目2単位 を選択必修							
			自 然 地 理 学 a } 自 然 地 理 学 b }	いずれか1 科目2単位 を選択必修							
地 誌 a } 地 誌 b }			いずれか1 科目2単位 を選択必修								
「法学, 政治学」	2～	入 門 基 礎 政 治 学	2単位必修	「法学 (国際法を含む。), 政治学 (国際政治を含む。)」	6～	入 門 基 礎 政 治 学	2単位必修				
		国 際 政 治 I	2			国 際 政 治 I	2単位必修				
		国 際 政 治 II	2			国 際 政 治 II	2単位必修				
		憲 法 I	2			憲 法 I	2				
		憲 法 II	2			憲 法 II	2				
		労 働 法 I	2			労 働 法 I	2				
		労 働 法 II	2			労 働 法 II	2				
		「社会学, 経済学」	2～			社 会 学 基 礎 } 文 化 人 類 学 基 礎 }	いずれか1 科目2単位 を選択必修	「社会学, 経済学 (国際経済を含む。)」	2～	社 会 学 基 礎 } 文 化 人 類 学 基 礎 }	いずれか1 科目2単位 を選択必修
						文化人類学概説 a, b	各2			文化人類学概説 a, b	各2
						理 論 社 会 学 b	2			理 論 社 会 学 b	2
						家 族 社 会 学 a, b	各2			家 族 社 会 学 a, b	各2
						産 業 社 会 学 a, b	各2			産 業 社 会 学 a, b	各2
						地 域 社 会 学 a, b	各2			地 域 社 会 学 a, b	各2
						ジェンダーの社会学 a, b	各2			ジェンダーの社会学 a, b	各2
生活史の社会学 a, b	各2			生活史の社会学 a, b	各2						
医療と福祉の社会学 a, b	各2	医療と福祉の社会学 a, b	各2								
社 会 調 査 概 説 a	2	社 会 調 査 概 説 a	2								
生 態 人 類 学 a, b	各2	生 態 人 類 学 a, b	各2								

中 一 免 「社 会」				高 一 免 「公 民」			
免許法施行規則に定める 専 門 科 目 区 分 等		左記に対応する開設専門科目		免許法施行規則に定める 専 門 科 目 区 分 等		左記に対応する開設専門科目	
科 目	単位数	授業科目名	単位数	科 目	単位数	授業科目名	単位数
「社会学，経済学」		医 療 人 類 学 a, b	各2	「社会学，経済学（国際経済を含む）」		医 療 人 類 学 a, b	各2
「哲学，倫理学，宗教学」	2～	哲 学 基 礎	2単位必修	「哲学，倫理学，宗教学，心理学」	2～	哲 学 基 礎	} いずれか1科目2単位を選択必修
		論 理 学 の 哲 学 a, b	各2			心 理 学 基 礎	
		価 値 論 a, b	各2			認 知 情 報 科 学 基 礎	
		科 学 基 礎 論 a, b	各2			論 理 学 の 哲 学 a, b	各2
		科 学 史 a, b	各2			価 値 論 a, b	各2
		東 洋 哲 学 概 説 a, b	各2			科 学 基 礎 論 a, b	各2
		西洋古代中世哲学 a, b, c, d	各2			科 学 史 a, b	各2
		西洋近世近代哲学 a, b, c, d	各2			東 洋 哲 学 概 説 a, b	各2
		現 代 哲 学 a, b, c, d	各2			西洋古代中世哲学 a, b, c, d	各2
		倫 理 思 想 史 a, b, c, d	各2			西洋近世近代哲学 a, b, c, d	各2
		現 代 哲 学 講 読 a, b, c, d	各2			現 代 哲 学 a, b, c, d	各2
		東 洋 哲 学 講 読 a, b, c, d	各2			倫 理 思 想 史 a, b, c, d	各2
						現 代 哲 学 講 読 a, b, c, d	各2
						東 洋 哲 学 講 読 a, b, c, d	各2
						知 覚 心 理 学 a, b	各2
						認 知 心 理 学 a, b	各2
						高 次 認 知 論 a, b	各2
						人 格 心 理 学 a, b	各2
						社 会 心 理 学 a, b	各2
						言 語 情 報 処 理 論 a, b	各2
						比 較 認 知 論 a, b	各2
						デ ー タ 解 析 基 礎 論 a1, a2, b1, b2	各1
						知 的 情 報 処 理 論 a, b	各2
教科の指導法	8	社会科・地歴教育論 A	2単位必修	教科の指導法	4	社会科・公民教育論 A	2単位必修
		社会科・地歴教育論 B	2単位必修			社会科・公民教育論 B	2単位必修
		社会科・公民教育論 A	2単位必修				
		社会科・公民教育論 B	2単位必修				

(注1) ゴシック表記の授業科目は、必修または選択必修科目です。指定された授業科目並びに単位数を必ず修得してください。

(注2) 中学校1種免許状で指定されている「教科に関する専門的事項」の最低修得単位数は20単位ですが、これに加えて「大学が独自に設定する科目」4単位分修得する必要があります。上表「教科に関する専門的事項」からは、合計24単位分を修得してください。

(注3) 高等学校1種免許状で指定されている「教科に関する専門的事項」の最低修得単位数は20単位ですが、これに加えて「大学が独自に設定する科目」12単位分修得する必要があります。「大学が独自に設定する科目」は、「道徳，総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導，教育相談等に関する科目」及び「教育実践に関する科目」からも一定単位数分充当することが可能ですが、なるべく上表「教科に関する専門的事項」から12単位分修得してください。(56ページの記述を参照。)

歴史学コースにおいて免許状取得希望者が履修すべき科目（専門科目）

中 一 免 「社 会」				高 一 免 「地理歴史」				
免許法施行規則に定める 専 門 科 目 区 分 等			左記に対応する開設専門科目		免許法施行規則に定める 専 門 科 目 区 分 等		左記に対応する開設専門科目	
科 目		単位数	授業科目名		科 目	単位数	授業科目名	
教科に関する専門的事項	日本史・外国史	4～	日 本 史 基 礎 a	1単位必修	日本史	2～	日 本 史 基 礎 a	1単位必修
			日 本 史 基 礎 b	1単位必修			日 本 史 基 礎 b	1単位必修
			世 界 史 基 礎 a	1単位必修			史 学 方 法 論 a	2
			世 界 史 基 礎 b	1単位必修			文化資料論基礎 a,b,c,e	各2
			史 学 方 法 論 a,b	各2			文化資料論基礎演習 a,b	各2
			文化資料論基礎 a,b,c,d,e	各2			史料学基礎演習 a,b	各2

中 一		免 「社 会」		高 一		免 「地理歴史」			
免許法施行規則に定める 専 門 科 目 区 分 等		左記に対応する開設専門科目		免許法施行規則に定める 専 門 科 目 区 分 等		左記に対応する開設専門科目			
科 目		単位数	授業科目名	単位数	科 目	単位数	授業科目名	単位数	
教科 に 関 す る	日本史・外国史		文化資料論基礎演習 a, b, c	各2	日本史		日 本 史 a, b, c, d, e	各2	
			史 科学 基 礎 演 習 a, b, c, d, e	各2			美 術 史 a	2	
			日 本 史 a, b, c, d, e	各2			考 古 学 a, b	各2	
			美 術 史 a, b	各2					
			考 古 学 a, b	各2					
			ア ジ ア 史 基 礎 a, b, c	各2					
			ヨーロッパ・アメリカ史基礎 a, b	各2					
			東アジア地域史 a, b	各2					
			イスラーム地域史 a, b	各2					
			中東・アフリカ地域史 a, b	各2					
ヨーロッパ地域史 a, b	各2								
東南アジア地域史 a, b	各2								
専 門 的 事 項	「社会学, 経済学」	2～	社 会 学 基 礎 } 文化人類学基礎 }	いずれか1 科目2単位 を選択必修			人 文 地 理 学 a } 人 文 地 理 学 b }	いずれか1 科目2単位 を選択必修	
			社 会 学 概 説 a, b	各2			自 然 地 理 学 a } 自 然 地 理 学 b }	いずれか1 科目2単位 を選択必修	
			文化人類学概説 a, b	各2			地 誌 a } 地 誌 b }	いずれか1 科目2単位 を選択必修	
			理論社会学 b	2					
			家族社会学 a, b	各2					
			産業社会学 a, b	各2					
			地域社会学 a, b	各2					
			ジェンダーの社会学 a, b	各2					
			生活史の社会学 a, b	各2					
			医療と福祉の社会学 a, b	各2					
			社会調査概説 a	2					
			生態人類学 a, b	各2					
			医療人類学 a, b	各2					

中 一 免 「社 会」			高 一 免 「地理歴史」					
免許法施行規則に定める 専 門 科 目 区 分 等		左記に対応する開設専門科目		免許法施行規則に定める 専 門 科 目 区 分 等		左記に対応する開設専門科目		
科 目		単位数	授業科目名	単位数	科 目	単位数	授業科目名	単位数
教科に関する専門的事項	「哲学, 倫理学, 宗教学」	2～	哲 学 基 礎	2単位必修				
			論 理 学 の 哲 学 a,b	各2				
			価 値 論 a,b	各2				
			科 学 基 礎 論 a,b	各2				
			科 学 史 a,b	各2				
			東 洋 哲 学 概 説 a,b	各2				
			西洋古代中世哲学 a,b,c,d	各2				
			西洋近世近代哲学 a,b,c,d	各2				
			現 代 哲 学 a,b,c,d	各2				
			倫 理 思 想 史 a,b,c,d	各2				
			現 代 哲 学 講 読 a,b,c,d	各2				
			東 洋 哲 学 講 読 a,b,c,d	各2				
教科の指導法		8	社会科・地歴教育論A 社会科・地歴教育論B 社会科・公民教育論A 社会科・公民教育論B	2単位必修 2単位必修 2単位必修 2単位必修	教科の指導法	4	社会科・地歴教育論A 社会科・地歴教育論B	2単位必修 2単位必修

(注1) ゴシック表記の授業科目は、必修または選択必修科目です。指定された授業科目並びに単位数を必ず修得してください。

(注2) 中学校1種免許状で指定されている「教科に関する専門的事項」の最低修得単位数は20単位ですが、これに加えて「大学が独自に設定する科目」4単位分修得する必要があります。上表「教科に関する専門的事項」からは、合計24単位分を修得してください。

(注3) 高等学校1種免許状で指定されている「教科に関する専門的事項」の最低修得単位数は20単位ですが、これに加えて「大学が独自に設定する科目」12単位分修得する必要があります。「大学が独自に設定する科目」は、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」及び「教育実践に関する科目」からも一定単位数分充当することが可能ですが、なるべく上表「教科に関する専門的事項」から12単位分修得してください。(56ページの記述を参照。)

日本・ユーラシア文化コースにおいて免許状取得希望者が履修すべき科目（専門科目）

中 一 免 「国 語」				高 一 免 「国 語」				
免許法施行規則に定める 専 門 科 目 区 分 等		左記に対応する開設専門科目		免許法施行規則に定める 専 門 科 目 区 分 等		左記に対応する開設専門科目		
科 目		単位数	授業科目名	単位数	科 目	単位数	授業科目名	単位数
教科に 関する 専門的 事項	国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	4～	言 語 学 基 礎 a,b	各2	国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	4～	言 語 学 基 礎 a,b	各2
			日 本 語 学 基 礎 a	2単位必修			日 本 語 学 基 礎 a	2単位必修
			日 本 語 学 基 礎 b	2単位必修			日 本 語 学 基 礎 b	2単位必修
			日 本 語 史 a,b	各2			日 本 語 史 a,b	各2
			日 本 文 法 論 a,b,c,d	各2			日 本 文 法 論 a,b,c,d	各2
			古代日本語論 a,b	各2			古代日本語論 a,b	各2
			近代日本語論 a,b	各2			近代日本語論 a,b	各2
			現代日本語論 a,b,c,d	各2			現代日本語論 a,b,c,d	各2
			古代日本語演習 a,b	各2			古代日本語演習 a,b	各2
			近代日本語演習 a,b	各2			近代日本語演習 a,b	各2
			現代日本語演習 a,b,c,d	各2			現代日本語演習 a,b,c,d	各2
			日本地域言語学音韻論演習 a,b	各2			日本地域言語学音韻論演習 a,b	各2
			日本地域言語学形態論演習 a,b	各2			日本地域言語学形態論演習 a,b	各2
			日 本 文 法 演 習 a,b,c,d	各2			日 本 文 法 演 習 a,b,c,d	各2
			ア イ ス 語 a,b	各2			ア イ ス 語 a,b	各2
	国文学（国文学史を含む。）	4～	日 本 文 学 史 a	いずれか1科目2単位を選択必修	国文学（国文学史を含む。）	4～	日 本 文 学 史 a	いずれか1科目2単位を選択必修
			日 本 文 学 史 b				日 本 文 学 史 b	
			日 本 文 学 史 c				日 本 文 学 史 c	
			日 本 文 学 史 d				日 本 文 学 史 d	
			日本文学基礎講読 a,b	各2			日本文学基礎講読 a,b	各2
			伝 承 文 学 論 a,b	各2			伝 承 文 学 論 a,b	各2

中 一 免 「国 語」				高 一 免 「国 語」					
免許法施行規則に定める 専 門 科 目 区 分 等		左記に対応する開設専門科目		免許法施行規則に定める 専 門 科 目 区 分 等		左記に対応する開設専門科目			
科 目		単位数	授業科目名	単位数	科 目	単位数	授業科目名	単位数	
教科 に 関 する 専 門 的 事 項	国文学（国文学史を含む。）		古 代 文 学 論 a,b,c,d	各2	国文学（国文学史を含む。）		古 代 文 学 論 a,b,c,d	各2	
			中 世 文 学 論 a,b,c,d	各2			中 世 文 学 論 a,b,c,d	各2	
			近 世 文 学 論 a,b,c,d	各2			近 世 文 学 論 a,b,c,d	各2	
			近 代 文 学 論 a,b,c,d	各2			近 代 文 学 論 a,b,c,d	各2	
			現 代 文 学 論 a,b	各2			現 代 文 学 論 a,b	各2	
			伝承文学論演習 a,b	各2			伝承文学論演習 a,b	各2	
			古代文学論演習 a,b,c,d	各2			古代文学論演習 a,b,c,d	各2	
			中世文学論演習 a,b,c,d	各2			中世文学論演習 a,b,c,d	各2	
			近世文学論演習 a,b,c,d	各2			近世文学論演習 a,b,c,d	各2	
			近代文学論演習 a,b,c,d	各2			近代文学論演習 a,b,c,d	各2	
現代文学論演習 a,b	各2	現代文学論演習 a,b	各2						
漢文学	2～	中国文学論 a } 中国文学論 b }	いずれか1科目2単位を選択必修	漢文学	2～	中国文学論 a } 中国文学論 b }	いずれか1科目2単位を選択必修		
書道 (書写を中心とする。)	2	書 写 概 論	2単位必修						
教科の指導法		8	国語科教育概説 国語科授業研究論 国語科教育課程論 国語科指導方法論	2単位必修 2単位必修 2単位必修 2単位必修	教科の指導法		4	国語科教育概説 国語科授業研究論 国語科教育課程論 国語科指導方法論	2単位必修 2単位必修 2単位必修 2単位必修

(注1) ゴシック表記の授業科目は、必修または選択必修科目です。指定された授業科目並びに単位数を必ず修得してください。

(注2) 中学校1種免許状で指定されている「教科に関する専門的事項」の最低修得単位数は20単位ですが、これに加えて「大学が独自に設定する科目」4単位分修得する必要があります。上表「教科に関する専門的事項」からは、合計24単位分を修得してください。

(注3) 高等学校1種免許状で指定されている「教科に関する専門的事項」の最低修得単位数は20単位ですが、これに加えて「大学が独自に設定する科目」12単位分修得する必要があります。「大学が独自に設定する科目」は、「教科の指導法」及び「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」からも一定単位数分充当することが可能ですが、なるべく上表「教科に関する専門的事項」から12単位分修得してください。(56ページの記述を参照。)

国際言語文化学コースにおいて免許状取得希望者が履修すべき科目（専門科目）

中 一 免 「英 語」				高 一 免 「英 語」				
免許法施行規則に定める 専 門 科 目 区 分 等		左記に対応する開設専門科目		免許法施行規則に定める 専 門 科 目 区 分 等		左記に対応する開設専門科目		
科 目		単位数	授業科目名	単位数	科 目	単位数	授業科目名	単位数
教科 に 関 する 専 門 的 事 項	英語学	4～	英 語 学 概 説 a	2単位必修	英語学	4～	英 語 学 概 説 a	2単位必修
			英 語 学 概 説 b	2単位必修			英 語 学 概 説 b	2単位必修
			英 文 法 a,b	各2			英 文 法 a,b	各2
			英 語 音 声 学 a,b	各2			英 語 音 声 学 a,b	各2
			英 語 史 a,b	各2			英 語 史 a,b	各2
			生成文法理論演習 a,b,c,d	各2			生成文法理論演習 a,b,c,d	各2
			英 語 学 演 習 a,b,c,d	各2			英 語 学 演 習 a,b,c,d	各2
	英語文学	8～	イギリス文学史 a	2単位必修	英語文学	8～	イギリス文学史 a	2単位必修
			イギリス文学史 b	2単位必修			イギリス文学史 b	2単位必修
			イギリス文学概説 a,b	各2			イギリス文学概説 a,b	各2
			イギリス文学演習 a,b,c,d	各2			イギリス文学演習 a,b,c,d	各2
			アメリカ文学史 a	2単位必修			アメリカ文学史 a	2単位必修
			アメリカ文学史 b	2単位必修			アメリカ文学史 b	2単位必修
			アメリカ文学演習 a,b,c,d	各2			アメリカ文学演習 a,b,c,d	各2
			アメリカ小説論演習 a,b,c,d	各2			アメリカ小説論演習 a,b,c,d	各2
			英 語 圏 文 学 論 a,b	各2			英 語 圏 文 学 論 a,b	各2

中 一 免 「英 語」				高 一 免 「英 語」					
免許法施行規則に定める 専 門 科 目 区 分 等		左記に対応する開設専門科目		免許法施行規則に定める 専 門 科 目 区 分 等		左記に対応する開設専門科目			
科 目		単位数	授業科目名	単位数	科 目	単位数	授業科目名	単位数	
教科に関する専門的事項	英 語 コ ミ ュ ニ ケーション	4～	英 会 話 a }	いずれか1 科目2単位 を選択必修	英 語 コ ミ ュ ニ ケーション	4～	英 会 話 a }	いずれか1 科目2単位 を選択必修	
			英 会 話 b }				英 会 話 b }		
			英 作 文 a }				いずれか1 科目2単位 を選択必修		英 作 文 a }
			英 作 文 b }						英 作 文 b }
			英 会 話 応 用 a,b						各2
	英 作 文 応 用 a,b	各2	英 作 文 応 用 a,b	各2					
異文化理解	4～	芸術メディア論演習 a,b,c,d	各2	異文化理解	4～	芸術メディア論演習 a,b,c,d	各2		
		英語圏文化論基礎 a	2単位必修			英語圏文化論基礎 a	2単位必修		
		英語圏文化論基礎 b	2単位必修			英語圏文化論基礎 b	2単位必修		
		アメリカ文化論 a,b	各2			アメリカ文化論 a,b	各2		
		アメリカ文化論演習 a,b,c,d	各2			アメリカ文化論演習 a,b,c,d	各2		
教科の指導法		8	英語科教育法概論	2単位必修	教科の指導法		4	英語科教育法概論	2単位必修
			英 語 科 指 導 論	2単位必修				英 語 科 指 導 論	いずれか1 科目2単位 を選択必修
			英 語 科 授 業 特 論	2単位必修			英 語 科 授 業 特 論		
			英語科教育方法論	2単位必修			英語科教育方法論		

- (注1) ゴシック表記の授業科目は、必修または選択必修科目です。指定された授業科目並びに単位数を必ず修得してください。
- (注2) 中学校1種免許状で指定されている「教科に関する専門的事項」の最低修得単位数は20単位ですが、これに加えて「大学が独自に設定する科目」4単位分修得する必要があります。上表「教科に関する専門的事項」からは、合計24単位分を修得してください。
- (注3) 高等学校1種免許状で指定されている「教科に関する専門的事項」の最低修得単位数は20単位ですが、これに加えて「大学が独自に設定する科目」12単位分修得する必要があります。「大学が独自に設定する科目」は、「教科の指導法」及び「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」からも一定単位数分充当することが可能ですが、なるべく上表「教科に関する専門的事項」から12単位分修得してください。(56ページの記述を参照。)

2. 学芸員資格の取得について

学芸員とは、博物館・美術館などにおける資料の収集・保管、展示、調査研究などにかかわる専門職です。学芸員の資格を得ようとする者は、「博物館法」に定める科目を修得しなければなりません。学芸員の資格は、学士の学位を持ち、大学において博物館に関する科目の単位を修得した者に与えられます。卒業時に単位修得証明書を必要とする場合は、1月頃に掲示を確認してください。

① 資格取得に必要な単位

「博物館法」に定める科目に対応する千葉大学の設置科目および単位数は下表のとおりです。資格取得には、合計19単位が必要です。履修にあたっては、普遍教育『Guidance 〜』の学芸員資格取得に関するページを確認してください。

(表2-1)

「博物館法」に定める科目	必要単位	左記に対応する千葉大学設置科目	履修条件	単位	開講学部等
生涯学習概論	2	生涯学習概論		2	教育学部
博物館概論	2	博物館概論		2	普遍教育
博物館経営論	2	博物館経営論		2	普遍教育
博物館資料論	2	博物館資料論 A～D (※ D は隔年開講) 博物館学 a～b	このうち、 1科目必修	各2	普遍教育
				各2	文学部
博物館資料保存論	2	博物館資料保存論		2	普遍教育
博物館展示論	2	博物館展示論		2	普遍教育
博物館教育論	2	博物館教育論		2	普遍教育
博物館情報・メディア論	2	博物館情報・メディア論		2	普遍教育
博物館実習	3	博物館実習 A (自然史系・環境科学系) 博物館学実習 B (美術系) 博物館学実習 a, b, c (歴史系) (a, b, cそれぞれ1単位) ナチュラルヒストリー (自然史系)	このうち、 1科目 (系統) 3単位 必修	博物館資料論 B または D	3 普遍教育
				博物館資料論 C	3 普遍教育
				博物館資料論 A } このうち、 博物館学 a～b } 1科目	各1 (合計3) 文学部
				博物館資料論 B または D	3 理学部
合計	19				

② 博物館実習について

1) 博物館実習を履修するためには、次のすべてを満たしていることが必要です。

- ・博物館概論、博物館資料論（博物館実習と一致する分野の科目）および博物館教育論を履修済みであること
- ・博物館実習 B と博物館学実習 c（館園実習）の受講年度には、原則としてすべての博物館法科目の単位が修得済みであること

2) 歴史系の博物館実習は、文学部で開講されている博物館学実習 a（実務実習）および博物館学実習 b（見学実習）を3年次で履修した後、4年次で博物館学実習 c（館園実習）を履修してください。博物館学実習 c については、履修の前年度（3年次）に履修登録予約のためのガイダンスを実施し

ますので、掲示に注意してください。

3) 美術系の博物館実習は、3～4年次に博物館実習Bを履修してください。

4) 自然系と環境科学系の博物館実習Aおよびナチュラリストリーについては、普遍教育『Guidance～』の該当ページを参照してください。

3. 司書資格の取得について

司書とは、「図書館法」の規定に基づき、図書館において、図書、記録その他必要な資料の収集、整理、保存、調査研究等をおこない、一般公衆の利用に供することを目的とした専門的事務に従事する専門職です。

「図書館法」は、公共図書館の設置等を定めるものであるため、それが規定する「司書」も、本来は公共図書館に勤務する専門的職員をさします。他方で、初中等学校に勤務する学校図書館司書教諭を除くと、公共図書館以外の図書館（例えば大学図書館）に勤務する専門的職員の資格を規定する制度は存在しませんが、実際には様々な種類の図書館において司書資格が求められています。

本学ではこのような現状をふまえ、「図書館法施行規則」第4条に基づく司書資格取得のための科目に相当する授業科目を開講するとともに、大学図書館や専門図書館に関する科目、社会の情報化の進展にも対応しうる科目を提供し、社会の養成に応えうる専門的職員の養成を目指しています。

① 資格取得の条件

「図書館法」第5条の定めにより、以下のいずれかの要件を満たした者は、司書資格を取得することが出来ます。千葉大学文学部では、(1)に基づき資格を取得することが出来ます。

(1) 大学を卒業した者で大学において文部科学省で定める図書館に関する科目を履修したもの

(2) 大学又は高等専門学校を卒業した者で次条の規定による司書の講習を修了したもの

(3) 次に掲げる職にあった期間が通算して三年以上になる者で次条の規定による司書の講習を修了したもの

イ) 司書補の職

ロ) 国立国会図書館又は大学若しくは高等専門学校の附属図書館における職で司書補の職に相当するもの

ハ) ロに掲げるもののほか、官公署、学校又は社会教育施設における職で社会教育主事、学芸員その他の司書補の職と同等以上の職として文部科学大臣が指定するもの

② 資格取得に必要な単位

文部科学省で定める図書館に関する科目に対応する本学設置科目は表3-1のとおりです。文学部生は、図書館法の定める必修科目22単位分に対応する本学設置科目（合計26単位）および選択科目2単位分に対応する本学設置科目（4単位）を修得する必要があります。

なお、演習科目については、履修者が多い場合等には受講者数を制限することがあります。その場合には、Moodle等にて通知しますので注意してください。

また、授業科目の開講時期は年度ごとに異なります。毎年度必ず確認を行い、履修計画を立ててください。

(表3-1)

区分	「図書館法」の定める科目	必要単位	左記に対応する 本学設置科目	受講対象	単位	開講 学部等	備考
必修科目	生涯学習概論	2	生涯学習概論	1年次以上	2	教育学部	
	図書館概論	2	図書館概論	1年次以上	2	普遍教育	
	図書館制度・経営論	2	図書館制度・経営論	2年次以上	2	普遍教育	
	図書館情報技術論	2	図書館情報技術論	2年次以上	2	普遍教育	
	図書館サービス概論	2	公共図書館サービス論	2年次以上	2	普遍教育	
	情報サービス概論	2	情報サービス論	2年次以上	2	文学部	
	児童サービス概論	2	児童サービス論	2年次以上	2	普遍教育	
	情報サービス演習	2	情報サービス演習	3年次以上	2	文学部	2科目とも必修
			情報検索演習	3年次以上	2	文学部	
	図書館情報資源概論	2	図書館情報資源概論	2年次以上	2	普遍教育	
	情報資源組織論	2	資料・情報組織論	2年次以上	2	文学部	
	情報資源組織演習	2	資料・情報組織演習 a	3年次以上	2	文学部	2科目とも必修
			資料・情報組織演習 b	3年次以上	2	文学部	
選択科目 (最低2科目履修)	図書館基礎特論	1	電子図書館論	2年次以上	2	文学部	
	図書館サービス特論	1	大学図書館論	2年次以上	2	文学部	
	図書館情報資源特論	1	学術情報論	2年次以上	2	普遍教育	
	図書・図書館史	1	書誌学概論	1年次以上	2	普遍教育	
	図書館施設論	1					
	図書館総合演習	1					
	図書館実習	1	図書館インターンシップ	3年次以上	2	文学部	
	計	24	計		30		

③ 履修の方法

図書館に関する科目（表3-1）は、概ね2年間（2～3年次が望ましい）で履修することを想定して開設されています。一部の普遍教育科目は、1年次生の履修も認めています。

なお、必修科目のうち「図書館概論」（普遍教育開講）は、最初に履修すべき科目です。

また、科目の連続性により、以下の6科目については履修年次を次のとおりとします。

2年次以降	3年次以降
情報サービス論	情報サービス演習
	情報検索演習
資料・情報組織論	資料・情報組織演習 a
	資料・情報組織演習 b

④ 証明書の交付

本学で司書資格を取得するには、卒業が条件です。司書資格に必要な全ての単位を修得し、かつ卒業見込者となるものは、4年次後期に単位修得証明書の申請を学部学務室にしてください。申請期日はMoodle等にてお知らせします。

X 事務手続きについて

1) 窓口取扱いの時間等について

文学部学生の主な窓口は、次の通りです。なお、大学行事や入学試験等のため、窓口業務を休止することもあります。その場合はMoodle等によりお知らせします。

窓口の場所 : 文学部棟1階 人社系学務課学部学務室 電話 : 043-290-2351 メール : bhgakumu@office.chiba-u.jp 窓口取扱時間 : 平日(土日祝祭日を除く) 8:30~12:00, 13:00~17:00 ※授業期間における前期・後期共に最初の履修登録・修正期間中は、8:30~17:00 ※8月のお盆時期および年末年始は、大学一斉休業のため窓口閉鎖となります。
--

2) 連絡事項

学部から学生への通知や連絡事項は、Moodle「文学部(全学年向け)」等に掲示します。必要な手続きや締め切りを確認しなかったために不利益を被ることのないよう、機会あるごとに積極的にMoodle等を確認してください。

なお、授業情報(休講、補講のお知らせ等)や連絡事項等については、学生ポータルにも掲載します。ただし、全ての情報を掲載しているわけではありませんので、必ずMoodle等とあわせて確認するよう心掛けてください。

3) 学生呼び出しについて

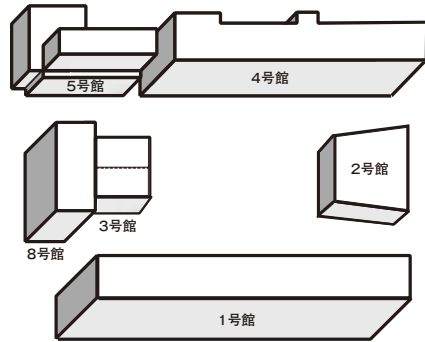
学部学務室や教員から個人に対して、連絡事項等の呼び出しをすることがあります。直接電話やメールにより連絡することもありますので、連絡先等が変更になった場合には、速やかに学部学務室に届け出るとともに、学生ポータルに新しい連絡先等を入力してください。

4) 各種手続き

種 別	摘 要	手続窓口
授業料関係	本学の授業料の納入方法は、原則として口座引落方式で行い、前期授業料は4月下旬、後期授業料は10月下旬に、指定銀行・郵便局口座からの引落により授業料を徴収します。 授業料額についてはMoodle等に掲示しますので、各自必ず確認をお願いします。 なお、授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。 ○ 納入期限 前期分4月末日 後期分10月末日 ※土日の場合はその前日となります。 ○ 授業料口座引落日 授業料口座引落日は掲示等でお知らせします。	財務部経理課 043-290-2068
	授業料は、経済的理由により授業料の納入が困難であり、且つ学業優秀と認められた場合など、申請に基づく選考の結果、全額または半額免除されることがあります。また、授業料徴収猶予、月額分納の制度もあります。 申請時期については、前期分は前年度1月下旬頃、後期分は7月上旬頃に掲示されますので注意してください。	学務部学生支援課 043-290-2178

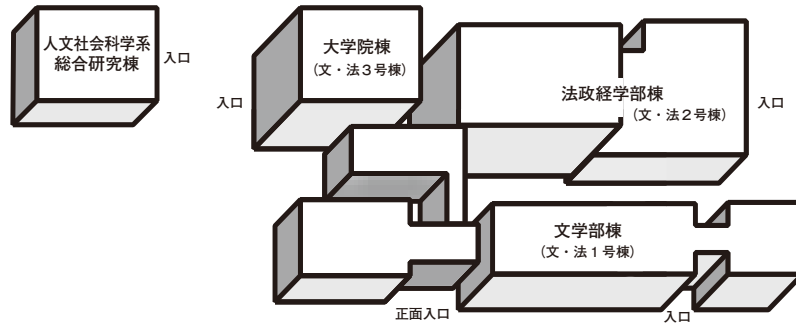
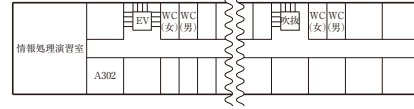
種 別		摘 要	手続窓口
証明書関係	各種証明書の発行	次の各種証明書については、証明書発行サービス（https://cert.gs.chiba-u.jp）で申請後、学生支援課（学生支援プラザ内）に設置の証明書学内発行機で発行できます。 1～4年次生 在学証明書、成績証明書、健康診断証明書（学内健康診断を受診した者）、学校学生生徒旅客運賃割引証（学割証） 4年次生のみ発行可能 卒業見込証明書 その他証明書の発行が必要な者は、学部学務室で証明書交付願により申し込んでください。（発行には所定の日数がかかりますので余裕を持って早めに申し込んでください。即日発行はできません。）	
	休学願	※身分異動（休学、休学延長、復学、留学、退学）については、全て事前に指導教員・教務委員から承諾を得る必要があります。 疾病その他の事由により2ヶ月以上修学することができない場合、休学事由を付して休学を願い出てください。 休学願の提出期限は、原則として休学しようとする日から起算して1ヶ月前までとします。（疾病の場合は、医師の診断書を添付してください。）	学部学務室
身分関係	復学願	休学期間満了の場合、または休学期間であっても休学事由が消滅した場合には、原則として復学しようとする日から起算して1ヶ月前までに復学願を提出してください。（疾病の場合は、医師の診断書を添付してください。）	
	退学願	退学しようとする日から起算して1ヶ月前までに手続きを行ってください。なお、退学する学期の授業料を完納しなければなりません。	
	氏名変更	改姓等のため氏名変更が生じたら、速やかに学部学務室に届け出てください。	
	現住所等の変更	本人や保護者などの本人以外の現住所、連絡先等が変更になった場合は、速やかに学部学務室へ書面にて届け出てください。	
	学生証の再発行	・紛失・破損による場合 学務部学生支援課に申し出てください。 ※再発行用カード（350円、生協ブックセンター販売）およびカラー写真（縦4cm×横3cm）を用意してください。 ・在籍期間延長、氏名変更、所属変更による場合 学部学務室に申し出てください。併せて変更等に伴う必要な手続きをしてください。 ※再発行用カードおよび写真は不要です。	学務部学生支援課 043-290-2162 学部学務室
その他	各種奨学金制度	日本学生支援機構奨学金、その他各種奨学金の詳細については、学務部学生支援課へ問い合わせてください。 ※奨学金受給者で、休学等の身分異動や、氏名・現住所等の変更が生じた場合には、学務部学生支援課で手続きが必要になります。	学務部学生支援課 043-290-2178, 2169
	通学証明	通学定期券を購入する場合は、学生証の裏に通学証明シールを貼付することで通学証明として利用することができます。通学証明シールを必要とする者は、学部学務室に申し出てください。ただし、以下の場合は、「通学証明書」を学部学務室にて発行してもらう必要があります。（即日発行は不可） ・JR、私鉄、地下鉄等、4鉄道会社以上の路線を利用する場合 ・バス通学をする場合 ※教育実習期間中に使用する通学定期券を購入するために通学証明書が必要な場合は、手続きに日数を要しますので、実習開始の3ヶ月前に申し出てください。	学部学務室
	自転車通学	通学のため、構内へ自転車で乗り入れる場合は、自転車通学登録が必要です。自転車通学をする者は、事前に生協住まい・アルバイト紹介カウンターで自転車等入構許可申請及びステッカー購入申込書の交付を受け、自転車等入構許可ステッカーを購入してください。（学部学務室での手続きは不要です。）	生協住まい・アルバイト紹介カウンター

案 内 図

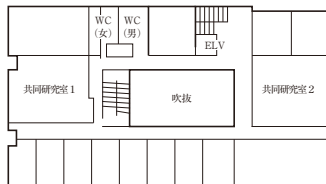


総合校舎

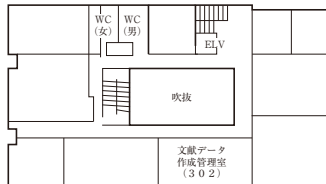
総合校舎 1号館 3階



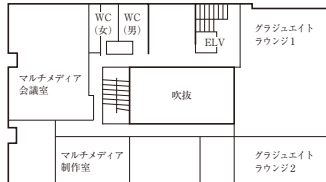
文学部・法政経学部校舎



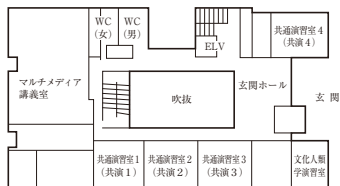
人社研棟4階



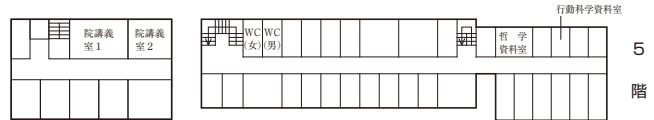
人社研棟3階



人社研棟2階



人文社会科学系総合研究棟1階 (人社研棟)



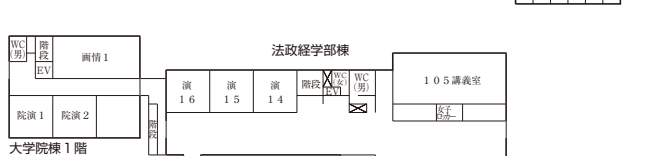
大学院棟5階



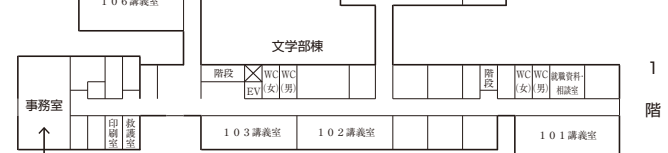
大学院棟3階



大学院棟2階



大学院棟1階



人社系学務課学部学務室



文学部
ホームページ

<https://www.l.chiba-u.jp/>



文学部履修案内

[https://www.l.chiba-u.jp/
students/steps/registration.html](https://www.l.chiba-u.jp/students/steps/registration.html)

【2025(令和7)年度時間割・教室割表】



千葉大学
ホームページ

<https://www.chiba-u.ac.jp/>



千葉大学
学生ポータル

<https://portal.gs.chiba-u.jp/>



千葉大学 Moodle

<https://moodle.gs.chiba-u.jp/moodle/>

【2025(令和7)年度時間割・教室割表】
文学部（全学年向け）に掲載

